

消防年報

令和2年版

斜里地区消防組合
(令和3年刊行)

は し め に

本年報は、消防力の現勢と令和2年中における、火災及び救急の状況並びに各種資料を収集・集録し、将来の消防体制の強化と火災予防の資料にするとともに、消防行政上有効に活用しようとする目的をもって編集したものです。

また、令和3年度の予算等を含め、斜里地区消防組合の業務を広く一般に紹介するとともに、過去数ヶ年の資料を統計的に対比し、職員の執務資料としての効果を充分発揮できるように作成したものです。

本年報が斜里地区消防組合の防災体制と、その事務を知る上に参考になれば幸いです。

令和3年10月

目 次

《 組 織 ・ 人 事 》

○ 管轄区域図	1
○ 機構図	2
○ 議会議員・監査委員等	3
○ 消防職員階級別配置調	4
○ 職員の技能・資格等の所有状況	5
○ 職員の年齢・勤務年数状況	6
○ 消防団員の配置状況	7
○ 団員の年齢・勤続年数状況	8

《 沿 革 》

○ 斜里地区消防組合の沿革	9~15
○ 組合設立以前の沿革	16~22
○ 歴代役職者名簿	23~27
○ 叙位・叙勲・褒章者名簿	28

《 組 合 現 況 》

○ 斜里町勢・地勢・人口世帯の推移	29
○ 小清水町勢・地勢・人口世帯の推移	30
○ 清里町勢・地勢・人口世帯の推移	31
○ 消防庁舎等一覧	32
○ 消防水利現況	33

《 消 防 用 機 械 現 況 》

○ 車両	34~35
○ 小型動力ポンプ	36

《 予 算 》

○ 構成町予算内訳	37
○ 人口・世帯に対する割合	
○ 令和3年度一般会計歳入予算（当初）	
○ 歳出予算（当初）	38

《 火 災 概 況 》

○ 過去10ヶ年間月別火災発生状況	39
○ 令和2年中火災統計	40

《 予 防 ・ 危 険 物 》

○ 防火対象物状況	41
○ 防火管理者講習実施状況	42
○ 危険物施設状況	43
○ 危険物製造所等貯蔵取扱状況	44

《 救 急 概 況 》

○ 令和2年中出場件数状況	45
○ 年別出場件数調	46
○ 傷病程度別・年齢別の搬送人員状況	47
○ 時間別搬送人員	48
○ 月別搬送人員	49
○ 曜日別搬送人員	50

組 織 ・ 人 事

斜里地区消防組合管轄区域図



知床岬

知床半島
▲ 知床岳

硫黄山

羅臼岳

羅臼町

遠音別岳



ウトロ分署
斜里第6分団

オホーツク海



斜里消防本部
斜里消防署
斜里団本部
斜里第1分団

斜里第5分団

海別岳

凡 例				
本 部	署	分 署	団 本 部	分 団



清里分署
清里団本部
清里第1分団

斜里第3分団

斜里第2分団

斜里第4分団

斜里岳

根北岬

清里第2分団

清里第1分団

清里第2分団

清里第3分団

小清水第3分団

小清水第2分団

小清水分署
小清水団本部
小清水第1分団

藻琴山

美幌岬

釧網本線



小清水分署
小清水団本部
小清水第1分団

網走湖

藻琴湖
沸沸湖

大空町

女満別空港

美幌町

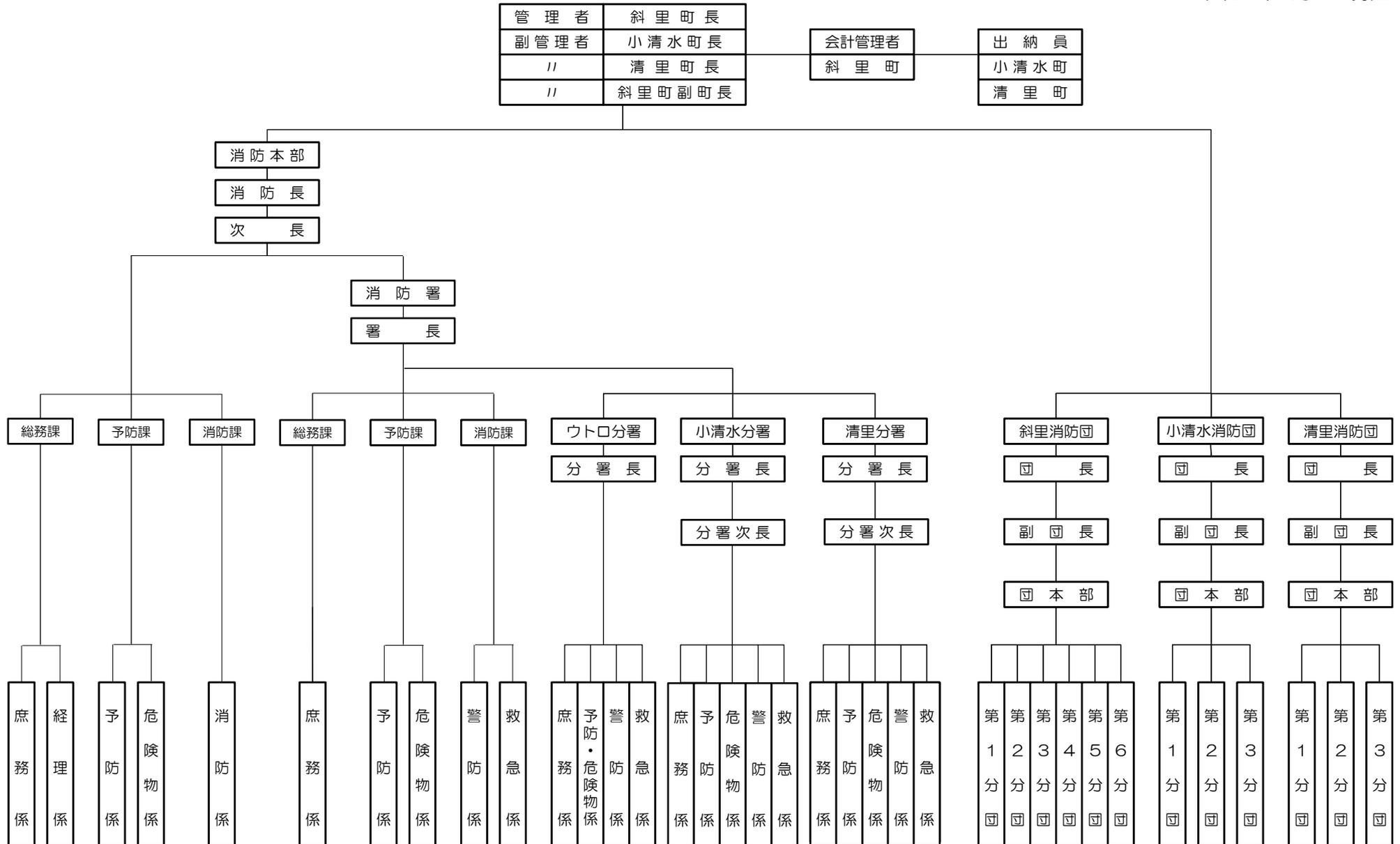
津別町

網走市

標津町

斜里地区消防組合機構図

令和3年7月1日現在



議 会 議 員

令和3年7月1日現在

職 名	氏 名	構 成 町 役 職	備 考
議 長	金 盛 典 夫	斜 里 町 議 会 議 長	
副 議 長	坂 田 秀 昭	小 清 水 町 議 会 議 長 員 小 総 務 文 教 常 任 委 員	
議 員	木 戸 寛 治	小 清 水 町 総 務 文 教 常 任 委 員 議 員 報 編 集 特 別 副 委 員 長	
〃	更 科 浩 司	小 清 水 町 経 済 厚 生 常 任 委 員 議 会 運 営 副 委 員 長	
〃	堀 川 哲 男	清 里 町 総 務 文 教 常 任 副 委 員 長 産 業 福 祉 常 任 委 員	
〃	池 下 昇	清 里 町 総 務 文 教 常 任 委 員 長	
〃	田 中 誠	清 里 町 議 会 議 長	
〃	久 野 聖 一	斜 里 町 総 務 文 教 常 任 委 員 長	
〃	木 村 耕 一 郎	斜 里 町 総 務 文 教 常 任 副 委 員 長	

※平成23年5月1日より、構成町選出議員は各町4名から3名となる。

監 査 委 員

職 名	氏 名	構 成 町 役 職	備 考
代 表 監 査 委 員	宮 山 貢	斜 里 町 監 査 委 員	
監 査 委 員	重 成 一 男	小 清 水 町 監 査 委 員	
監 査 委 員	篠 田 恵 介	清 里 町 監 査 委 員	

執 行 機 関

職 名	氏 名	構 成 町 役 職	備 考
管 理 者	馬 場 隆	斜 里 町 長	
副 管 理 者	久 保 弘 志	小 清 水 町 長	
〃	櫛 引 政 明	清 里 町 長	
〃	北 雅 裕	斜 里 町 副 町 長	
副 管 理 者 職 務 代 行 者	鈴 木 祐 之	小 清 水 町 副 町 長	
〃	本 松 昭 仁	清 里 町 副 町 長	
会 計 管 理 者	伊 藤 菜 穂 子	斜 里 町 会 計 管 理 者	
出 納 員	荒 木 和 正	小 清 水 町 出 納 室 長	
〃	三 浦 厚	清 里 町 出 納 室 長	

消 防 職 員 階 級 別 配 置 調

令和3年7月1日現在

階 級 所 属	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	計	定 員	充 足 率
消 防 本 部	1	1	1			2	5		
消 防 署		3	5	3	3	8	22		
ウ ト 口 分 署		1	4	1	2	5	13		
小 清 水 分 署		1	6	4	3	2	16		
清 里 分 署		2	5	6	3		16		
計	1	8	21	14	11	17	72	83	86.7
平 均 年 齢	50.0	50.5	45.2	35.9	27.5	23.2	36.2		

消 防 職 員 の 技 能 ・ 資 格 等 の 所 有 状 況

令和3年7月1日現在

種 別			階 級 人 員		総	司	司	士	副	消
					数	令	令	長	士	防
					73	8	21	16	8	20
警	通 信 ・ 救 急 関 係	特 殊 無 線 技 士	第2級陸上	10	3	7				
			第3級陸上	42	5	14	14	6	3	
			そ の 他							
	救 急 隊 員 資 格 者	Ⅱ 課 程	6	3	3					
		標 準 課 程	22	3	11	5	2	1		
		救 急 救 命 士	38	2	7	9	9	11		
	自 動 車 関 係	大 型 免 許	2 種							
			1 種	64	8	21	14	9	12	
			特 殊	13	1	7	4	1		
		引 免 許	2		2					
普 通 免 許 (1 種)		72	9	21	14	11	17			
移 動 式 ク レ ー ン		11	1	5	3	2				
玉 掛 け		10	1	4	3	2				
車 両 系 建 設 機 械 運 転	42	6	15	7	5	9				
整 備 関 係	整 備 士	2 級	1		1					
		3 級								
	溶 接 士	ア セ チ レ ン ガ ス	11		6	4	1			
		ア - ク	1		1					
そ の 他	小 型 船 舶 操 縦 士	12	3	7	2					
	潜 水 士	1			1					
	救 急 再 圧 員 資 格 (高 気 圧 業 務)	8	3	5						
	酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者	13	5	7	1					
	酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者	13	5	8						
	特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者	4		4						
	新 ・ 伐 木 等 に 係 る 特 別 教 育	3	1	2						
予 防 部 門	危 険 物 取 扱 者	乙 種	24	2	12	5	4	1		
		丙 種	4	1	2		1			
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察	12	2	8	1	1			
		消 防 用 設 備 等	11	3	6	1	1			
		危 険 物	7	1	2	2		2		
消 防 設 備 士	乙 種	3		1	2					
石 油 機 器 技 術 管 理 士	1		1							
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者										

消 防 職 員 の 年 齢 ・ 勤 続 年 数 状 況

令和3年7月1日現在

階 級 人 員 種 別		総 数	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
		72	1	8	21	14	11	17
年 齡	55歳以上	3		2	1			
	50歳以上55歳未満	6	1	2	3			
	45歳以上50歳未満	11		3	7	1		
	40歳以上45歳未満	11		1	8	2		
	35歳以上40歳未満	6			2	4		
	30歳以上35歳未満	10				6	4	
	25歳以上30歳未満	12				1	5	6
	20歳以上25歳未満	10					2	8
	18歳以上20歳未満	3						3
	平均年齢	36.2	50.0	50.5	45.2	35.9	27.5	23.2
勤 続 年 数	35年以上							
	30年以上35年未満	5	1	2	2			
	25年以上30年未満	12		3	8	1		
	20年以上25年未満	12		2	8	2		
	15年以上20年未満	6			2	4		
	10年以上15年未満	7			1	5	1	
	5年以上10年未満	11				2	6	3
	1年以上5年未満	16		1			4	11
	1年未満	3						3
	平均勤続年数	14.6	32.0	23.3	24.1	15.3	6.2	2.8

消 防 団 員 の 配 置 状 況

令和3年7月1日現在

階 級		団	副	本	分	副	部	班	団	計	定	充
区 分		長	団	部	団	分	長	長	員		員	足
			長	長	長	長	長	長				率
												(%)
組 合 総 計		3	6	3	13	13	35 (4)	42 (4)	169 (20)	284 (28)	325	87.4
斜 里 消 防 団	団 本 部	1	2	1			1 (1)	2 (2)	9 (9)	16 (12)		
	第 1 分 団				1	1	4	8	23	37		
	第 2 分 団				1	1	1	2	7	12		
	第 3 分 団				1	1	1	2	9	14		
	第 4 分 団				1	1	1	2	8	13		
	第 5 分 団				1	1	1	2	8	13		
	第 6 分 団				1	1	2	4	10	18		
	計	1	2	1	6	6	11 (1)	22 (2)	74 (9)	123 (12)	145	84.8
小 清 水 消 防 団	団 本 部	1	2	1	1	1	3 (2)	2 (1)	6 (6)	17 (9)		
	第 1 分 団				1	1	4	4	31	41		
	第 2 分 団				1	1	3	3	6	14		
	第 3 分 団				1	1	3	3	9	17		
	計	1	2	1	4	4	13 (2)	12 (1)	52 (6)	89 (9)	90	98.9
清 里 消 防 団	団 本 部	1	2	1			1 (1)	1 (1)	5 (5)	11 (7)		
	第 1 分 団				1	1	5	4	19	30		
	第 2 分 団				1	1	3	2	14	21		
	第 3 分 団				1	1	2	1	5	10		
計	1	2	1	3	3	11 (1)	8 (1)	43 (5)	72 (7)	90	80.0	

() 内は、女性消防団員

消 防 団 員 の 年 齢 ・ 勤 続 年 数 状 況

令和3年7月1日現在

階 級 人 員 種 別		総 数	団 長	副 団 長	本 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
		284	3	6	3	13	13	35	42	169
年 齢	55歳以上	62	3	5	2	10	9	16	7	10
	50歳以上55歳未満	32		1		3	3	7	6	12
	45歳以上50歳未満	47			1		1	6	18	21
	40歳以上45歳未満	42						6	4	32
	35歳以上40歳未満	43							7	36
	30歳以上35歳未満	33								33
	25歳以上30歳未満	14								14
	20歳以上25歳未満	7								7
	18歳以上20歳未満	4								4
	平均年齢	44.5	64.0	61.3	55.7	58.4	56.8	52.8	47.5	38.9
勤 続 年 数	35年以上	14	2	2	1	4	2	2	1	
	30年以上35年未満	21	1	2	1	6	4	4	2	1
	25年以上30年未満	32		2		1	4	13	6	6
	20年以上25年未満	36			1	2	2	10	13	8
	15年以上20年未満	26					1	3	7	15
	10年以上15年未満	45						2	9	34
	5年以上10年未満	57						1	4	52
	1年以上5年未満	43								43
	1年未満	10								10
	平均勤続年数	15.2	35.7	31.5	32.3	32.2	28.6	24.5	19.1	8.8

浴

革

斜里地区消防組合の沿革

令和3年7月1日現在

昭和 48 年 3 月 17 日	<p>斜里郡3町（斜里町・小清水町・清里町）の構成により斜里地区消防組合が発足。消防本部を斜里町に設置し、斜里地区消防組合消防署、消防署小清水分署、消防署清里分署に改称。また、組合構成町の各消防団を斜里地区消防組合斜里消防団、小清水消防団、清里消防団に改称する。</p> <p style="text-align: center;">消 防 長 齋 藤 太 郎 消 防 署 長 阿 部 年 男 消防署小清水分署長 雪 下 勇 消防署清里分署長 高 木 幹 男 斜里消防団長 高 桑 華 夷 治 小清水消防団長 中 島 喜 悦 清里消防団長 大 西 章</p> <p style="text-align: center;">【消防職員数】 消防本部 3名 斜里消防署 20名 小清水分署 9名 清里分署 12名</p>
6 月 8 日	北海道消防協会長より斜里消防団に表彰旗が授与された
6 月	小清水分署に消防用無線機（基地局）購入資金として、小清水ライオンズクラブより500千円の寄附
6 月 25 日	消防本部屋上にモーターサイレン設置（10ph）
6 月 30 日	斜里消防署の指令車を更新配備
6 月 30 日	斜里消防団第5分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備
9 月 10 日	清里消防団第1分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備（清里4号車）
10 月 20 日	清里消防団第3分団に積載車を購入配備（清里9号車）
10 月 20 日	清里消防団第2分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備（清里7号車）
11 月 10 日	斜里消防団第5分団庁舎落成
11 月 30 日	宇登呂分遣所増築工事
12 月 1 日	小清水分署庁舎改築工事
12 月 10 日	清里分署庁舎新築工事
12 月 26 日	斜里消防署に消防用超短波無線機を購入配備（基地局1基 移動局4基）
昭和 49 年 1 月 22 日	小清水分署に消防無線電話を購入配備（固定局1基 移動局5基）
2 月 12 日	清里消防団長に 太田 良雄 氏が就任
3 月 10 日	清里分署に消防専用無線電話装置を購入配備（基地局1基 移動局5基）
3 月 28 日	小清水消防団第1分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（小清水3号車）
4 月 25 日	小清水消防団第1分団に小型動力ポンプを購入配備
7 月 15 日	斜里消防署に日本損害保険協会より消防ポンプ（A-1）自動車寄贈（斜里3号車）
8 月 17 日	小清水消防団に団本部設置
9 月 11 日	小清水分署に総合通信指令卓設置
10 月 10 日	斜里消防団第6分団に小型動力ポンプを購入配備
10 月 26 日	小清水分署職員待機宿舎建設（ブロック造 3戸）
昭和 50 年 2 月 12 日	小清水分署に救急自動車装備資金として網走信用金庫より500千円の寄附
5 月 5 日	小清水分署に指令車を購入配備（横道号 横道 四郎 氏より購入金額の1,873千円のうち1,000千円の寄附）
4 月 1 日	小清水分署に人員搬送車を購入配備（白鳥号 26人乗り）
4 月 1 日	小清水消防団の定数を120名から115名に改正
7 月 7 日	清里分署長に 長尾 清 氏が就任
8 月 26 日	清里分署に指令車を購入配備
8 月 30 日	小清水分署に北海道共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車の寄贈
11 月 11 日	斜里消防署にサイレン遠隔吹鳴装置付き一斉指令装置を配備（知床斜里駅前の旧斜里館屋上にサイレン設置）
11 月 11 日	宇登呂分遣所に無線局を開局
12 月 15 日	清里消防団第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里3号車）
昭和 51 年 11 月 11 日	清里分署に消防専用無線電話装置を購入配備（移動局3基）
11 月 29 日	小清水分署が水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（小清水1号車）
昭和 52 年 4 月 1 日	小清水分署長に 鬼塚 日出男 氏が就任
10 月 1 日	小清水分署が人員搬送車を更新配備（動員車 26人乗り）
10 月 4 日	斜里消防署が役場庁舎裏に車庫新築（動員車等格納）

昭和 52 年	10 月 6 日	清里消防団第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里2号車）	
	10 月 13 日	斜里消防署に人員搬送車を購入配備（動員車 26人乗り）	
	12 月 26 日	斜里消防署の2B型救急自動車を更新配備	
昭和 53 年	4 月 1 日	斜里消防団の定数を140名から145名に改正	
	9 月 30 日	斜里消防団第1分団の水槽付消防ポンプ自動車（A-2）を更新配備（斜里4号車 小型動力ポンプ積載）	
	10 月 25 日	清里分署に救急自動車を購入配備	
	10 月 27 日	北海道知事より小清水消防団に表彰旗が授与された	
	11 月 14 日	清里分署に消防専用無線電話装置を配備（移動局2）	
昭和 54 年	11 月 21 日	宇登呂分遣所に網走市田中漁業株式会社より消防ポンプ自動車の寄贈を受け「大雄号」と命名し配備（A-2 CD型）	
	1 月 19 日	小清水分署に消防施設整備資金として 一戸 鉄雄 氏より50千円の寄附	
	4 月 1 日	清里消防団長に 山下 良蔵 氏が就任	
	7 月 9 日	小清水分署に消防施設整備資金として 森田 和作 氏より100千円の寄附	
	7 月 10 日	清里分署長に 清水 貞雄 氏が就任	
	7 月 27 日	斜里消防団が全道消防操法訓練大会に出場	
	8 月 1 日	小清水分署に遠隔操作式サイレン吹鳴装置を配備	
	12 月 20 日	自治体消防30周年記念誌「小清水の消防」発刊	
	昭和 55 年	5 月 2 日	斜里消防署に(株)佐藤製材工場より指令車の寄贈（トヨタ クラウンワゴン 1,980千円）
		7 月 15 日	清里消防団第3分団に小型動力ポンプを配備
8 月 22 日		小清水消防団が全道消防操法訓練大会に出場（小型ポンプの部 準優勝）	
9 月 12 日		小清水分署庁舎事務所改築及び車庫天井設置工事	
昭和 56 年	11 月 20 日	消防本部・署庁舎増改築（工事費 9,980千円）	
	6 月 1 日	宇登呂分遣所庁舎新築工事（北海道市町村振興事業）及び消防職員待機機舎建設	
	7 月 13 日	清里分署緑分遣所に消防専用無線電話装置を購入配備（移動局1基）	
	7 月 17 日	小清水消防団第3分団の小型動力ポンプを更新配備	
	7 月 21 日	小清水分署の救急自動車を更新配備	
	7 月 28 日	宇登呂分遣所に救急自動車を購入配備	
	8 月 5 日	斜里町で大規模な集中豪雨が発生し家屋86棟、道路18路線に被害を受け、被害総額は84億円にのぼった	
昭和 57 年	11 月 11 日	宇登呂分遣所に消防職員待機機舎が完成（1棟 4戸）	
	1 月 6 日	北海道消防協会長より斜里消防団が昭和56年8月に発生した集中豪雨の際の功勞により羊頭綬が授与された	
	6 月 1 日	宇登呂分遣所を「斜里地区消防組合消防署ウトロ分署」に改称し初代分署長に 湯浅 明 氏が就任（消防職員7名 ウトロ分署庁舎落成式挙行）	
	8 月 20 日	清里消防団が全道消防操法訓練大会に出場（小型ポンプの部 準優勝）	
	9 月 20 日	ウトロ分署に職員待機機舎が完成（1棟 4戸）	
	9 月 21 日	清里分署札弦分遣所に消防専用無線電話装置を購入配備（移動局1基）	
	11 月 22 日	小清水分署に職員待機機舎が完成（2戸）	
昭和 58 年	7 月 1 日	斜里消防署長に 畔木 計佳 氏が就任	
	8 月 1 日	小清水分署長に 和田 良典 氏が就任	
	9 月 1 日	ソビエト戦闘機により大韓航空機が墜落され、斜里消防署及び斜里消防団が漂流物の捜索活動を実施（9月11日から9月22日まで出勤延人員 消防職員156名 消防団員282名）	
	10 月 12 日	清里分署に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里1号車）	
昭和 59 年	4 月 1 日	斜里消防団長に 青木 栄 氏が就任	
	5 月 12 日	小清水幼稚園幼年消防クラブ及び小清水町婦人防火クラブ結成	
	5 月 21 日	清里分署に指令車を購入配備	
	7 月 1 日	消防長に 松葉 勇 氏が就任（消防長事務取扱）	
	8 月 7 日	知床岳で林野火災が発生し斜里消防署及びウトロ分署消防車両と自衛隊ヘリコプターにより2日間の消火活動を実施（焼失面積 1ha 空中消火ヘリ延65機 人員230人 出火原因不明）	
	8 月 7 日	斜里地区防火委員会設立	
	9 月 21 日	清里消防団第1分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備（清里4号車）	
	10 月 9 日	小清水消防団第2分団にサイレン塔を設置	
昭和 60 年	10 月 31 日	斜里消防署に小型動力ポンプ付大型水槽車を購入配備（斜里2号車）	
	4 月 1 日	清里分署長に 服部 利道 氏が就任	
	4 月 27 日	小清水分署が指令車を更新配備（横道号 横道 四郎 氏より購入金額2,825千円のうち2,000千円の寄附）	
	5 月 21 日	消防本部に連絡車を購入配備（本部車 三菱トレディア 1,600cc）	

昭和 60 年	8 月 2 日	小清水消防団第3分団にサイレン塔を設置	
	8 月 8 日	清里消防団第3分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備（清里9号車）	
	10 月 12 日	斜里町幼少年防火クラブ設立	
	10 月 18 日	小清水分署に小型動力ポンプ付大型水槽車を購入配備し、昭和44年11月購入の水槽付消防ポンプ自動車を第2分団に配置転換	
昭和 61 年	4 月 1 日	ウトロ分署長に 橋本 昭夫 氏が就任	
	5 月 22 日	ウトロ分署に指令車を購入配備（トヨタ ランドクルーザー）	
	7 月 5 日	清里分署に消防施設整備資金として 高谷 ますみ・博 氏より100千円の寄附	
	7 月 29 日	知床岬ウィーンブリ岳で林野火災が発生し斜里消防署及びウトロ分署消防車両と自衛隊ヘリコプターにより6日間の消火活動を実施（焼失面積 4ha 空中消火ヘリ延234機 人員 1,628人 出火原因不明）	
	9 月 10 日	清里消防団第2分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備（清里7号車）	
	11 月 25 日	小清水分署車庫を増築	
昭和 62 年	11 月 28 日	小清水消防団第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（小清水5号車）	
	7 月 11 日	消防長に 畔木 計佳 氏が就任	
	8 月 25 日	小清水町婦人防火クラブに日本消防協会から寄贈された軽可搬ポンプを小清水幼稚園に配備（TF-O3型）	
	9 月 22 日	斜里大谷幼稚園幼年消防クラブ結成	
	10 月 30 日	清里分署に救急自動車を購入配備	
	11 月 6 日	斜里消防署に北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈	
	11 月 25 日	北海道知事より清里消防団に表彰旗が授与された	
	昭和 63 年	5 月 12 日	小清水分署に消防施設整備資金として 森 茂 氏より100千円の寄附
		6 月 26 日	斜里大谷幼稚園幼年消防クラブに日本消防協会より鼓笛隊セットが寄贈
		7 月 11 日	清里分署長に 河合 建宏 氏が就任
7 月 12 日		小清水消防団長に 高嶋 寛 氏が就任	
9 月 22 日		清里消防団第2分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里6号車）	
9 月 30 日		小清水消防団第2分団に日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車が寄贈（小清水6号車）	
11 月 22 日		斜里消防署が消防ポンプ自動車を更新配備（斜里5号車 救助資機材積載）	
12 月 10 日		斜里消防署に無線用アンテナタワーを設置	
平成 元 年	4 月 1 日	清里消防団長に 古屋 信一 氏が就任	
	9 月 13 日	清里消防団第3分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里8号車）	
	10 月 9 日	ウトロ分署にウトロ自治会より携帯用無線機の寄贈（移動局2基）	
	10 月 16 日	小清水分署長に 根本 貢 氏が就任	
	10 月 24 日	ウトロ分署に消防職員待機宿舎が完成（1棟 4戸）	
	12 月 12 日	小清水分署に消防施設整備資金として 横道 アヤ 氏より100千円の寄附	
平成 2 年	3 月 28 日	ウトロ分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（ウトロ1号車）	
	7 月 27 日	斜里消防団第3分団が北海道消防操法大会に出場（小型ポンプの部 優勝）	
	8 月	小清水消防団第2分団に消防施設整備資金として 小島芳雄 氏・加藤 雅雄 氏より180千円の寄附	
	8 月 22 日	小清水町高齢者緊急通報システム運用開始	
	8 月 24 日	小清水分署に日本赤十字社小清水分区より救急自動車の寄贈	
	11 月 14 日	斜里消防団第3分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備	
平成 3 年	12 月 26 日	斜里消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（斜里1号車）	
	4 月 1 日	消防長に 藤井 孝 氏が就任	
	4 月 1 日	斜里消防署長に 湯浅 明 氏が就任	
	6 月 1 日	ウトロ分署長に 長尾 勲 氏が就任	
	7 月 8 日	ウトロ分署の救急自動車を更新配備	
	10 月 16 日	小清水消防団第3分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（小清水7号車）	
	11 月 10 日	斜里町高齢者緊急通報システム運用開始	
	12 月 24 日	斜里消防団第4分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備	
平成 4 年	1 月 30 日	斜里消防署の指令車を更新配備	
	3 月 24 日	斜里消防団第2分団庁舎を新築及びサイレン塔を新設	
	4 月 1 日	斜里消防署長に 大藤 實 氏が就任	
	4 月 1 日	斜里消防団長に 佐野 幾之介 氏が就任	
	5 月 13 日	小清水消防団に初の女性消防団員を任用（8名）	
	5 月 20 日	清里分署の指令車を更新配備	
	8 月 7 日	斜里消防団第2分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備	
	9 月 11 日	斜里町で台風17号と秋雨前線が停滞した影響により、市街地を中心に家屋2,260世帯が床上及び床下浸水し、道路は各所で決壊、冠水等の影響で通行止めとなり、被害総額5億円以上の大災害となった	

平成 4 年	10 月 12 日	小清水消防団第2分団庁舎が完成	
	11 月 4 日	小清水幼稚園幼年消防クラブに日本消防協会より鼓笛隊セットが寄贈	
	12 月 15 日	清里分署にサイレン吹鳴無線制御装置（指令卓）を購入配備し羽衣南地区に電子サイレンを新設、また119番通報の受信が分署への一本化となった	
	12 月 26 日	小清水分署に 元小清水消防団長 中島 喜悅 氏より勲五等双光旭日章受章を記念し、資機材搬送車の寄贈（中島号 トヨタダイナ）	
平成 5 年	2 月 26 日	清里分署長に 林 順一 氏が就任	
	4 月 1 日	清里消防団に初の女性消防団員を任用（10名）	
	9 月 3 日	斜里消防団第5分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備	
	9 月 6 日	斜里消防署の人員搬送車を更新配備（動員車）	
	9 月 16 日	斜里消防署事務所及び食堂を増築	
	9 月 20 日	清里分署の消防用無線電話装置を更新（基地局1 移動局3）	
	10 月 12 日	小清水分署長に 坂本 貞雄 氏が就任	
	11 月 15 日	清里消防団第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里3号車）	
	12 月 1 日	小清水消防団第2分団に 田中 保 氏より消防施設備品としてビデオカメラ一式の寄贈	
	平成 6 年	5 月 1 日	斜里消防団に初の女性消防団員を任用（10名）
5 月 11 日		消防本部本部車を更新配備（トヨタクラウン）	
6 月 20 日		小清水分署に救助資機材を購入配備	
7 月 21 日		小清水消防団第2分団が全道消防操法訓練大会に出場（ポンプ車の部）	
8 月 5 日		小清水分署に消防施設整備資金として 森 茂 氏より500千円の寄附	
11 月 16 日		小清水消防団第3分団庁舎が完成	
平成 7 年	5 月 12 日	清里分署長に 樫村 信一 氏が就任	
	6 月 1 日	ウトロ分署長に 保村 征夫 氏が就任	
	9 月 29 日	清里やまと幼稚園幼年消防クラブ及び清里町婦人防火クラブを設立	
	10 月 16 日	消防長に 矢久保 塞 氏が就任	
	10 月 25 日	斜里消防署の救急自動車を高規格救急自動車に更新配備	
	10 月 26 日	清里分署の救急自動車を更新配備	
	12 月 7 日	小清水消防団第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（小清水2号車）	
平成 8 年	3 月 18 日	清里消防団第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（清里2号車）	
	3 月 25 日	斜里消防団第6分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（ウトロ3号車）	
	4 月 1 日	斜里消防署長に 橋本 昭夫 氏が就任	
	7 月 11 日	小清水分署に消防用無線基地局第2装置を設置	
	8 月 20 日	斜里消防団第5分団庁舎全面改修	
	10 月 1 日	斜里消防団長に 小泉 勝也 氏が就任	
	10 月 31 日	斜里消防団第5分団にサイレン塔を新設	
	平成 9 年	2 月 14 日	日本消防協会長より斜里消防団に表彰旗が授与された
4 月 1 日		斜里消防署長に 保村 征夫 氏が就任	
4 月 1 日		ウトロ分署長に 高橋 利幸 氏が就任	
8 月 21 日		清里町婦人防火クラブに日本消防協会から軽可搬ポンプが寄贈	
9 月 25 日		小清水消防団第1分団の人員搬送車を更新配備（動員車）	
9 月 30 日		小清水分署に北海道共済農業協同組合連合会より寄贈された救急自動車を更新配備	
平成 10 年	3 月 20 日	斜里消防署に全日本消防人共済会より広報車の寄贈（ハイラックスサーフ）	
	4 月 1 日	小清水分署長に 菅原 未治 氏が就任	
	7 月 22 日	斜里消防団第4分団庁舎全面改修	
	7 月 30 日	清里消防団第2分団が北海道消防操法訓練大会に出場（ポンプ車の部）	
	9 月 6 日	斜里消防団秋季消防演習から斜里消防団防災訓練に変更し実施	
	9 月 8 日	ウトロ分署に日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車が寄贈（大雄号からウトロ2号車に更新）	
	10 月 15 日	斜里消防団第4分団にサイレン塔を新設	
	平成 11 年	4 月 1 日	消防本部職員に小清水分署及び清里分署から各1名ずつの派遣を受け新体制となる
		4 月 1 日	消防本部から斜里消防署に職員2名異動
		4 月 1 日	小清水分署から消防本部に職員1名派遣
4 月 1 日		清里分署から消防本部に職員1名派遣	
4 月 1 日		清里消防団長に 片岡 保弘 氏が就任	
6 月 1 日		斜里消防団長に 佐藤 力蔵 氏が就任	
8 月 25 日		ウトロ分署に油圧式救助資機材を購入配備	
10 月 26 日		斜里消防団第3分団庁舎全面改修	
10 月 28 日		斜里消防団第3分団サイレン塔を新設	
12 月 28 日		清里分署に救助工作車Ⅱ型を購入配備（清里4号車）	

平成 12 年	4 月 1 日	斜里消防署長に 青島 敏 氏が就任
	4 月 1 日	ウトロ分署長に 田畑 伸二 氏が就任
	6 月 9 日	斜里消防団まとい購入（1本）
	7 月 22 日	斜里消防団に友好都市の弘前消防団より友好まといの寄贈
	8 月 31 日	斜里小学校敷地内のサイレン塔を改修しモーターサイレンを設置
	9 月 3 日	斜里町と斜里消防団合同の斜里町防災訓練を実施
	9 月 10 日	清里消防団秋季消防演習から清里消防団防災訓練に変更し実施
	9 月 25 日	清里町基幹的施設改良工事に伴い消火栓4基を新設
	12 月 20 日	ウトロ分署庁舎車庫を増築
平成 13 年	1 月 25 日	ウトロ分署にはしご付消防自動車を購入配備
	4 月 1 日	斜里消防団長に 近藤 正廣 氏が就任
	4 月 27 日	斜里消防署に厚真町より譲渡された化学消防ポンプ自動車を配備
	12 月 11 日	斜里消防署の高規格救急自動車を更新配備（水柿号 水柿 氏より購入金額の31,762千円のうち16,000千円の寄附）し、配備していた高規格救急自動車とウトロ分署の救急自動車を転換配備して斜里消防署が救急自動車2台体制となった
平成 14 年	4 月 1 日	消防長に 中島 英治 氏が就任
	4 月 1 日	斜里町国民健康保健病院指示による救急救命士特定行為運用開始
	5 月 23 日	ウトロ分署に救急高度化資機材一式を購入配備
	6 月 28 日	斜里消防署の資機材搬送車を更新配備（斜里7号車）
	8 月 23 日	小清水分署の指令車を更新配備
	11 月 27 日	斜里消防署の大型水槽車積載の小型動力ポンプを更新（斜里2号車）
平成 15 年	4 月 1 日	清里分署長に 榎引 政明 氏が就任
	5 月 1 日	小清水分署長に 菅野 満 氏が就任
	6 月 1 日	清里分署長に 荻野 美樹 氏が就任
	8 月 16 日	小清水分署に消防施設整備資金として 高嶋 寛 氏より200千円の寄附
平成 16 年	6 月 14 日	ウトロ分署の指令車を更新配備
平成 17 年	4 月 1 日	小清水分署長に 島 敏範 氏が就任
	4 月 1 日	清里分署長に 高橋 俊幸 氏が就任
	4 月 1 日	清里分署札弦分遣所の消防職員常駐を廃止し、札弦地区防災予防協議会に札弦分遣所消防施設消防業務を委託した
	8 月 10 日	斜里消防団第3分団の小型動力ポンプを更新配備
	9 月 13 日	携帯電話119番通報受信転送装置を設置
平成 18 年	1 月 20 日	女性消防団員に日本消防協会からAEDトレーナー及び軽可搬ポンプの寄贈
	4 月 1 日	消防長に 金田 清見 氏が就任
	4 月 1 日	ウトロ分署長に 高橋 利幸 氏が就任
	4 月 1 日	清里消防団長に 湯浅 猛城 氏が就任
	6 月 28 日	小清水分署の救急自動車に自動体外式除細動器を搭載
	6 月 28 日	清里分署の救急自動車に自動体外式除細動器を搭載
	7 月 28 日	斜里消防団第4分団の小型動力ポンプを更新配備
	11 月 1 日	小清水消防団長に 奥村 寛 氏が就任
平成 19 年	4 月 1 日	小清水分署長に 古川 博 氏が就任
	4 月 1 日	ウトロ分署長に 江刺 隆夫 氏が就任
	4 月 1 日	斜里消防団長に 上野 敏雄 氏が就任
	5 月 16 日	小清水消防団第1分団の小型動力ポンプを更新配備
	7 月 13 日	消防本部・署庁内LAN構築
	7 月 19 日	小清水消防団第3分団が北海道消防操法訓練大会に出場（小型ポンプの部 優勝）
	8 月 23 日	斜里消防団第2分団の小型動力ポンプを更新配備
平成 20 年	3 月 7 日	消防庁長官より斜里消防団に竿頭綬が授与された
	4 月 1 日	消防長に 旭 仁 氏が就任
	4 月 1 日	緊急消防援助隊に消火小隊1隊を登録
	9 月 26 日	斜里消防団第5分団の小型動力ポンプを更新配備
	11 月 28 日	斜里町光陽町34番地3にサイレン塔を新設
	12 月 24 日	小清水分署庁舎新築
平成 21 年	3 月 31 日	斜里町消防後援会解散
	4 月 1 日	斜里消防署長に 江刺 隆夫 氏が就任
	4 月 1 日	ウトロ分署長に 七條 信之 氏が就任
	4 月 1 日	清里消防団長に 高橋 泰雄 氏が就任
	8 月 30 日	小清水消防団秋季消防演習から小清水消防団防災訓練に変更し実施
	10 月 8 日	清里分署の指令車を更新配備
	10 月 15 日	小清水分署の救急自動車を高規格救急自動車に更新配備（車両本体はJA共済より寄贈）

平成 21 年	12 月 10 日	清里分署庁舎第2車庫を改築
平成 22 年	1 月 7 日	清里分署の救急自動車を高規格救急自動車に更新配備
	2 月 17 日	ウトロ分署の高規格救急自動車を更新配備（斜里第一漁業協同組合より購入金額の32,000千円のうち21,000千円の寄附）
	4 月 1 日	小清水分署長に 山本 新一 氏が就任
	5 月 25 日	小清水消防団第2分団及び第3分団の小型動力ポンプを更新配備
	9 月 5 日	小清水町と小清水消防団合同の小清水町防災訓練を実施
	9 月 30 日	小清水分署消防職員住宅完成（平屋建 3戸）
平成 23 年	1 月 27 日	小清水分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（小清水1号車）
	3 月 3 日	消防庁長官より消防本部に竿頭綬が授与された
	3 月 3 日	消防庁長官より小清水消防団に竿頭綬が授与された
	3 月 3 日	消防庁長官より清里消防団に竿頭綬が授与された
	3 月 11 日	東日本大震災発生（東北地方に甚大な被害をもたらした）
	3 月 25 日	ウトロ分署はしご付消防自動車重整備実施
	4 月 5 日	緊急消防援助隊（北海道第8次派遣隊）として1隊（車両1台 隊員2名）が宮城県石巻市へ派遣された
	8 月 24 日	斜里消防団第1分団の小型動力ポンプを更新配備
	9 月 30 日	小清水分署消防職員住宅完成（平屋建 3戸）
	10 月 31 日	小清水町浜小清水地区のサイレン塔改修整備
平成 24 年	3 月 29 日	清里消防団第2分団庁舎新築（旧札弦分遣所）
	3 月 30 日	斜里町ウトロ東426番地1にサイレン塔新設
	4 月 1 日	斜里消防署長に 田中 宏 氏が就任
	4 月 1 日	小清水分署長に 長町 哲夫 氏が就任
	4 月 1 日	清里分署長に 二瓶 正規 氏が就任
	7 月 19 日	斜里消防団第1分団が北海道消防操法訓練大会に出場（小型ポンプの部 準優勝）
	10 月 18 日	斜里消防署の高規格救急自動車を更新配備（車両本体はJA共済より寄贈）
平成 25 年	4 月 1 日	斜里消防団長に 五十嵐 一彦 氏が就任
	4 月 1 日	清里消防団長に 森崎 正章 氏が就任
平成 26 年	2 月 28 日	小清水消防団第1分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（小清水3号車）
	4 月 1 日	斜里消防署長に 八幡 盛幸 氏が就任
	4 月 1 日	清里分署長に 河合 雄司 氏が就任
	4 月 1 日	ウトロ分署長に 神田 和幸 氏が就任
	8 月 25 日	消防本部本部車を更新配備（トヨタカローラワゴン）
平成 27 年	3 月 3 日	小清水分署、清里分署、ウトロ分署の3分署が消防救急デジタル無線仮運用を開始
	3 月 15 日	小清水分署に緊急通報受付指令設備を設置
	4 月 1 日	消防長に 八幡 盛幸 氏が就任
	4 月 1 日	斜里消防署長に 七條 信之 氏が就任
	4 月 1 日	小清水分署長に 加藤 省二 氏が就任
	4 月 1 日	清里消防団長に 竹端 義弘 氏が就任
	5 月 20 日	清里分署長に 野呂田 成人 氏が就任
	7 月 1 日	消防本部・署庁舎改築工事着工
	11 月 17 日	北海道知事より斜里消防団に表彰旗が授与された
平成 28 年	1 月 9 日	危険物安全協会より創立50周年記念事業としてテント3張の寄贈
	3 月 23 日	清里分署に緊急通報受付指令設備を設置
	3 月 31 日	清里分署からの消防本部職員の派遣が終了
	4 月 1 日	消防本部職員1名採用
	4 月 11 日	消防本部・署庁舎（事務所棟）改築工事完成
	4 月 11 日	斜里地区消防組合消防署が消防救急デジタル無線運用を開始
	6 月 27 日	清里消防団第1分団の小型動力ポンプを更新配備
	7 月 29 日	斜里消防団旗を更新
	8 月 5 日	斜里消防団第6分団の小型動力ポンプを更新配備
	8 月 8 日	清里消防団旗を更新
	8 月 24 日	清里分署に油圧式救助資機材を更新配備
平成 29 年	1 月 20 日	指令台システム整備事業完了
	3 月 7 日	消防本部・署庁舎（車庫棟）改築工事完了に伴い竣工式挙行
	4 月 1 日	小清水分署長に 不破 和巳 氏が就任
	4 月 1 日	小清水消防団長に 不破 泰志 氏が就任
	5 月 1 日	ウトロ分署長に 佐藤 慶典 氏が就任
	7 月 14 日	清里消防団第1分団が北海道消防操法訓練大会に出場（小型ポンプの部）

平成 29 年	7 月 24 日	清里消防団第2分団の小型動力ポンプを更新配備
平成 30 年	4 月 1 日	清里分署長に 岡崎 亨 氏が就任
	4 月 1 日	緊急消防援助隊に消火小隊1隊、救急小隊1隊を増隊登録（登録隊合計3隊、消火小隊2隊、救急小隊1隊）
平成 31 年	3 月 6 日	消防庁長官より斜里地区消防組合消防本部及び斜里消防団に表彰旗が授与された
	3 月 31 日	小清水分署からの消防本部職員の派遣が終了
	4 月 1 日	消防本部職員1名採用
	4 月 1 日	消防長に 今野 克美 氏が就任
	4 月 1 日	斜里消防署長に 佐藤 慶典 氏が就任
	4 月 1 日	ウトロ分署長に 佐藤 栄次 氏が就任
	4 月 1 日	斜里消防団長に 長谷川 宏文 氏が就任
	4 月 1 日	再任用職員1名採用、斜里町役場総務部へ派遣
令和 元 年	5 月 1 日	斜里消防署に臨時職員1名採用
	6 月 26 日	消防本部に緊急消防援助隊エアータントを購入配備
	10 月 1 日	小清水分署に高規格救急自動車を更新配備（車両本体はJA共済より寄贈）
令和 2 年	3 月 26 日	ウトロ分署に高規格救急自動車を更新配備
	4 月 1 日	斜里消防署に会計年度任用職員1名採用
	9 月 10 日	清里消防団第2分団の6号車を更新配備
	9 月 30 日	ウトロ分署庁舎非常用発電機更新整備
	11 月 24 日	デジタル無線・指令システム更新整備
令和 3 年	1 月 20 日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車（CD-II型）を更新配備（斜里タンク2）
	3 月 10 日	消防庁長官より小清水消防団に表彰旗が授与された
	4 月 1 日	消防長に 佐藤 慶典 氏が就任
	4 月 1 日	斜里消防署長に 上見 崇 氏が就任
	4 月 1 日	清里分署長に 内野 智也 氏が就任
	4 月 1 日	清里消防団長に 漆原 淳 氏が就任

組合設立以前の沿革

【斜里町】

明治 40 年	5 月	公設斜里消防組が設立 初代組頭に 平田 嘉吉 氏が就任
明治 43 年	7 月	第2代及び第3代組頭に 堺谷 定次郎 氏が就任
明治 44 年		手動式ポンプ購入（150円）
大正 6 年	6 月	第4代組頭に 元木 善蔵 氏が就任
大正 7 年	4 月 1 日	第5代組頭に 山田 忠太郎 氏が就任
	12 月 1 日	第6代組頭に 岡島 末二郎 氏が就任
大正 8 年		消防組が2部制となる
	12 月 1 日	第7代組頭に 吉川 寛 氏が就任
大正 11 年	6 月	優良消防組として、第1部及び第2部が北海道警察部長より金馬簾一条の使用が認許された
	10 月 1 日	第8代組頭に 新居 茂平 氏が就任
大正 12 年		消防組庁舎が新築された
大正 13 年		森田式ガソリンポンプ1台を第2部に購入配備
	5 月 1 日	第9代組頭に 吉野 由太郎 氏が就任
大正 14 年	3 月 1 日	第10代組頭に 齊藤 萬吉 氏が就任
	4 月	庁令により第1部部長1名、小頭2名、消防手定員40名、第2部部長1名、小頭2名、消防手定員35名となる
	8 月 1 日	第11代組頭に 吉川 寛 氏が就任
大正 15 年		森田式ガソリンポンプ1台を第1部に購入配備
	8 月 1 日	第12代組頭に 野々宮 新吉 氏が就任
昭和 3 年	4 月	無火災の功績により、第1部及び第2部が道庁長官から功績状を下附され表彰される
	5 月 1 日	第13代組頭に 藤井 音吉 氏が就任
昭和 4 年	3 月	消防組が2部制から3部制となる
		第1部の下町及び第2部の上町が共に部長1名、小頭2名、消防手25名、組頭以下95名となる
	11 月 1 日	第14代組頭に 松原 憲治 氏が就任
昭和 7 年	6 月	斜里市街火災により建物5棟9戸が全焼した
昭和 9 年	6 月	森田式ガソリンポンプ1台を第2部に購入配備
昭和 10 年	4 月 1 日	第15代組頭に 吉野 清吉 氏が就任
	4 月 23 日	斜里町始まって以来の大火にみまわれ48棟61戸を焼失し213千円の損害となった
	5 月	ガソリンポンプ1台を第3部に購入配備
昭和 11 年		ガソリンポンプ1台購入配備
	11 月 1 日	第16代組頭に 野々宮 新吉 氏が就任
昭和 14 年	4 月 1 日	警防団令が施行され警防団に改称され2分団制となる（第1分団 4部16班 179名 第2分団 8班 82名）
	4 月 1 日	初代警防団長に 野々宮 新吉 氏が就任
昭和 18 年	12 月 23 日	第2代警防団長に 小林 直喜 氏が就任
昭和 21 年	6 月 21 日	斜里警防団中斜里分団が発足
	6 月 21 日	第3代警防団長に 山中 高公 氏が就任
昭和 22 年	7 月 27 日	斜里警防団から斜里町消防団に改称
	7 月 27 日	初代消防団長に 山中 高公 氏が就任
	7 月 27 日	3輪消防ポンプ自動車が寄贈された（勤労号）
昭和 23 年	4 月 1 日	消防委員会が発足し、町議会議員3名、消防団長、消防後援会長、学識経験者2名の7名で構成され、斜里町の消防行政に貢献した（昭和48年3月の消防組合発足に伴い解散）
	4 月 20 日	森田式普通ポンプ自動車1台を購入配備（購入費 530千円）
	9 月 27 日	消防本部が設置され、初代消防長に 山中 高公 氏が就任
昭和 24 年	5 月 29 日	第2代消防団長に 芳賀 金三 氏が就任
昭和 26 年	6 月 18 日	森田式普通消防ポンプ自動車1台を購入配備
	8 月 1 日	中斜里地区に貯水槽が落成し放水試験の帰途中に川上西1線排水路に消防自動車が転落し五味 基 氏(33歳)が死亡し、3名が重傷、9名が軽傷を負った
昭和 27 年	1 月 31 日	第2代消防長に 中村 次吉 氏が就任
	1 月 31 日	第3代消防団長に 中村 次吉 氏が就任
	6 月 30 日	斜里町消防団第6分団がウトロ地区に発足
	10 月	斜里市街火災により建物9棟8世帯が焼失
昭和 28 年	5 月 7 日	森田式水槽付消防ポンプ自動車1台を第1分団に購入配備（購入費 2,750千円）
	8 月 27 日	第4代消防団長に 水柿 雄二郎 氏が就任
昭和 29 年	5 月 15 日	斜里町消防団第4分団が三井地区に発足
	6 月 12 日	斜里町消防団第3分団が以久科地区に発足

昭和 30 年	9 月 24 日	第5代消防団長に 中村 次吉 氏が就任
昭和 31 年	5 月 22 日	第6代消防団長に 斎藤 太郎 氏が就任
昭和 33 年	1 月 4 日	斜里町消防団第1分団出初め式において、消防団員の 菱川 義男 氏(34歳)が登梯中に転落し死亡
	4 月 1 日	斜里町消防団を斜里消防団に改称(定員 125名)
	4 月 26 日	斜里消防団第5分団が峰浜地区に発足
	10 月 31 日	第5分団に小型動力ポンプを購入配備
昭和 35 年	9 月 15 日	第1分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備し「町民号」と命名(購入費 3,263千円)
	5 月 10 日	第4分団に小型動力ポンプを購入配備
	6 月 3 日	第2分団に小型動力ポンプを購入配備
	8 月 13 日	第1分団に縄走信用金庫から普通消防ポンプ自動車1台が寄贈され配備し「信用金庫号」と命名
	10 月 3 日	第3分団に小型動力ポンプを購入配備
	11 月 27 日	消防本部庁舎を新築(鉄筋コンクリートブロック造2階建 497.46㎡ 建築費 6,800千円)
昭和 37 年	7 月 25 日	消防独身寮を新築(木造モルタル2階建 194㎡ 建築費 2,570千円)
	11 月 23 日	消防用無線機を購入(基地局1 移動局1)
昭和 38 年	7 月	斜里町消防本部規則を制定
	10 月 10 日	第6分団に小型動力ポンプを購入配備
昭和 39 年	10 月 31 日	第6分団に消防ポンプ自動車を購入配備(トヨタ ランドクルーザー 購入費 1,900千円)
昭和 40 年	4 月 15 日	第3代消防団長に 村田 幸四郎 氏が就任
	5 月 12 日	斜里消防団規則を制定(定員140名)
	5 月 12 日	政令により斜里町消防署を設置
	5 月 12 日	斜里消防組織規定を制定
	5 月 25 日	初代消防署長に 斎藤 太郎 氏が就任
	5 月 29 日	日本赤十字社より救急自動車の配車を受け救急業務を任意で開始
	11 月	北海道知事より斜里消防団に竿頭綬が授与された
	12 月 23 日	第4代消防長に 斎藤 太郎 氏が就任
	12 月 23 日	第2代消防署長に 和田 新二 氏が就任
昭和 42 年	6 月 27 日	第3代消防署長に 村上 健吾 氏が就任
	8 月 9 日	消防署に指令車を購入配備(購入費 400千円)
	11 月 9 日	第1分団に消防ポンプ自動車を購入配備(購入費 2,700千円)
昭和 43 年	1 月 1 日	斜里消防団に団本部を設置
	1 月 1 日	斜里消防団が団本部と6分団制を施行(定員 140名)
昭和 44 年	11 月 15 日	第6分団消防庁舎が落成
昭和 45 年	1 月 8 日	第4代消防署長に 阿部 年男 氏が就任
	9 月 10 日	第2分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備
	11 月 4 日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
	11 月 4 日	消防署配備の水槽付消防ポンプ自動車を第6分団に配備(配置転換)
昭和 46 年	4 月 1 日	宇登呂分遣所を設置
	4 月 1 日	初代宇登呂分遣所長に 橋本 昭夫 氏が就任
	9 月 9 日	第4分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備
	9 月 29 日	消防署に日本赤十字社から救急自動車の配備を受け更新配備
	11 月 15 日	第4分団消防庁舎が落成
昭和 47 年	9 月 14 日	第3分団に小型動力ポンプ付積載車を購入配備
	9 月 30 日	第3分団消防庁舎が落成
昭和 48 年	1 月 31 日	宇登呂分遣所に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備(ウトロ号)

【小清水町】

大正 8 年	4 月 1 日	斜里村のうち止別、蒼瑠の2ヶ村を分離して小清水町と称し、2級町村制を施行
	5 月 10 日	私設小清水組を組織し、消防手 35名、腕用ポンプ1台(380円)を配備
	5 月 10 日	小清水消防組初代組頭に 佐藤 福三郎 氏が就任
大正 9 年	5 月 25 日	私設小清水消防組から公設小清水消防組に昇格
大正 10 年	4 月 12 日	小清水消防組第2代組頭に 安達 次次郎 氏が就任
大正 11 年	6 月 10 日	小清水消防組が優良消防組として、北海道庁警察部長より金馬簾第1条の使用を認許
大正 12 年	9 月 26 日	小清水消防組第3代組頭に 白田 菊太郎 氏が就任
大正 15 年	2 月 12 日	小清水消防組第4代組頭に 斉藤 梅吉 氏が就任
	12 月 6 日	午前10時15分 村立小清水尋常高等学校（現9区 南浄水場前）小使室より出火、同校舎1棟を焼失し午後1時に鎮火
昭和 2 年	3 月 25 日	山崎 清吾 氏より、ガソリンポンプ1台の寄贈を受ける
昭和 3 年	4 月 11 日	小清水消防組第5代組頭に 横道 彦吉 氏が就任
	4 月 30 日	小清水7区で8棟6世帯が全焼
昭和 5 年	5 月 27 日	私設札鶴消防組を組織し、消防手28名、機械置場を設置し腕用ポンプ1台を配備
	5 月 27 日	札鶴消防組初代組頭に 田淵 市太郎 氏が就任
昭和 6 年	3 月 31 日	札鶴消防組第2代組頭に 田高田 安吉 氏が就任
	7 月 9 日	札鶴市街が大火に見舞われ11棟11世帯を焼失する
昭和 7 年	3 月 1 日	古樋火防組合設立 北海道庁長官認可 初代組合長に 石沢 清七 氏が就任
	7 月 1 日	止別火防組合設立 北海道庁長官認可 初代組合長に 渡辺 幸次 氏が就任
	7 月 1 日	私設札鶴消防組が公設札鶴消防組に昇格
	7 月 1 日	札鶴消防組第3代組頭に 藤井 清基 氏が就任
昭和 8 年	9 月 7 日	6月30日に発生した上札鶴金沢木工場の火災に小清水消防組と札鶴消防組が出動し、組員一同がその職責を全うし功績顕著と認められ小清水消防組には感謝状、札鶴消防組には金馬簾第1条の使用認許状が北海道庁長官より授与された
昭和 9 年	4 月 1 日	私設古樋消防組を消防手20名で組織、初代組頭に 石沢 清七 氏が就任
	4 月 1 日	私設止別消防組を消防手24名で組織、初代組頭に 渡辺 幸次 氏が就任
	4 月 1 日	小清水消防組より腕用ポンプ1台を配備
	5 月 10 日	小清水消防組旗を購入
	7 月 23 日	組員による浄財で小清水消防番屋を建設（現3区 小清水中央公民館付近 建設費 1.2千円）
昭和 10 年	5 月 24 日	小清水消防組 横道組頭外39名の寄附により小清水消防器具置場を建設（現4区網走信用金庫小清水支店西側 木造桁葎2階建1棟 145.2㎡ 建設費1.1千円）
	7 月 28 日	小清水消防組火の見櫓を建設（現3区小清水中央公民館付近 建設費 585円）
昭和 11 年	5 月	札鶴消防組に小清水消防組より20馬力ガソリンポンプ1台が配備され、機械置場の増築をし組織の充実を図る
	6 月 15 日	小清水消防組に森田式フォードポンプ車を購入配備（購入費 5.5千円）
	6 月 19 日	皆既日食警備出動（小清水小学校 校庭）
	7 月 15 日	小清水消防組にガソリンポンプを購入配備（購入資金の一部として組員が2千円を村へ寄附）
	7 月 15 日	日新小学校校舎の払い下げを受け、止別消防組に火の見櫓を建設（南3号8線）
	7 月 15 日	古樋消防組が 石沢 清七 氏より自費購入による腕用ポンプ1台の寄贈を受ける
	7 月 15 日	消防番屋に火の見櫓を建設
	9 月 1 日	札鶴消防組第4代組頭に 山口 三次郎 氏が就任
	9 月 8 日	札鶴消防組 山口組頭外28名の寄附により札鶴消防組器具置場を建設（木造桁葎平屋建1棟 35.4㎡ 建設費 200円）
	9 月 18 日	小清水消防組 横道組頭外34名の寄附による手引きガソリンポンプ1台を小清水消防組に配備（購入費 1.75千円）
昭和 14 年	4 月 1 日	警防団令(告示第338号)が施行され、斜里警察署管轄により小清水村一円を統括する小清水村警防団となる 各分団の管轄区域は、第1分団が小清水市街地区、第2分団が札鶴地区（現 清里町札弦）、第3分団が新津軽地区（現 小清水町止別）、第4分団が蒼瑠地区（現 小清水町浜小清水）、第5分団が上札鶴地区（現 清里町緑）
	4 月 1 日	初代団長に 横道 彦吉 氏 初代副団長に 中島 喜左衛門 氏及び 山口 三次郎 氏がそれぞれ就任
	12 月 21 日	村立小清水尋常小学校南側保育教室より出火し、校舎が全焼
昭和 16 年	10 月	第5分団にガソリンポンプ車を購入配備（購入費 2千円）
昭和 18 年	4 月 1 日	上斜里村（現 清里町）分村により、副団長 山口 三次郎 氏が退任し第3分団が第2分団、第4分団が第3分団となる
	7 月 29 日	小清水市街2区で24棟22世帯が全焼した火災が発生（損害額 120千円）
昭和 20 年	10 月	旧海軍航空基地より撒水車の払下げを受け、ポンプ自動車に改造して第1分団に配備
昭和 21 年	3 月 31 日	副団長の 中島 喜左衛門 氏が退任
昭和 22 年	8 月 28 日	消防法の制定により小清水村警防団を解散し、小清水村消防団を組織する（定員 128名）

昭和 22 年	8 月 28 日	初代団長に 横道 彦吉 氏 初代副団長に 高谷 金作 氏及び 渡勣 四郎 氏がそれぞれ就任
	8 月 28 日	消防委員会が設置され、初代委員長に 小野 吉右衛門 氏が就任し、委員長外5名の委員で構成された
昭和 23 年	6 月 1 日	常勤団員1名採用 (池上 喜平)
	6 月 1 日	第2分団にフォードガソリン手引き消防ポンプ(T4気筒)を購入配備 (購入費 3千円)
昭和 24 年	5 月 31 日	第2代団長に 高谷 金作 氏が就任
	10 月	第3分団消防番屋を建設 (木造葺葺2階建1棟 95.87㎡ 建設費 300千円)
	11 月	第2分団の火の見櫓を建設 (木造1塔 工事費 100千円)
昭和 26 年	2 月 8 日	第3分団に可搬動力ポンプ及び動力サイレンを設置
	7 月 1 日	字名改正により古樋から浜小清水となる
昭和 27 年	6 月 21 日	第3代団長に 竹村 菊治 氏が就任
	8 月 28 日	第1分団下町車庫を建設 (現2区役場車庫北側 木造葺葺平屋建 46.28㎡ 建設費 230千円)
昭和 28 年	1 月 3 日	小清水5区で7棟4世帯が全半焼し焼死者1名
	10 月 1 日	町制施行により小清水村消防団から小清水町消防団に改称 機構は、消防長 藤原 教、団長 竹村 菊治、副団長 佐藤 福正、第1便団長 中島 喜悦、第2分団長 柴田 義輝、第3分団長 石田 一男であり、分団には庶務班、機械班、消火班、警戒班、救護班がそれぞれ設置され、装備については、ポンプ自動車2台、手挽ポンプ3台、腕用ポンプ2台、貯水槽3基、貯水井16ヶ所となった
昭和 29 年	5 月 6 日	第2分団に可搬動力ポンプを配備
	5 月 14 日	第1分団に森田式ニッサンタンク車を購入配備 (購入費 2,500千円のうちタンク車購入期成会(会長 横道 彦吉 氏)より、1,000千円の寄附を受ける)
	9 月 27 日	第4代団長に 関根 禎作 氏が就任
昭和 30 年	4 月 1 日	常勤団員を1名増員し2名となる
昭和 31 年	11 月 10 日	小清水市街火防組合長 小笠原 健夫 氏より常勤職員住宅の寄附を受ける (現7区 木造葺葺平屋建1棟 50.41㎡)
昭和 34 年	5 月	第2分団に可搬動力ポンプを配備
	7 月 24 日	小清水4区で23棟14世帯が全焼 (応援車両 網走2台、斜里2台、清里2台、札弦2台 損害額 5,000万円)
	10 月 1 日	常勤団員を1名増員し3名となる
	12 月 10 日	第2分団車庫を新築 (1階補強コンクリートブロック造2階木造モルタル塗 延面積 127.26㎡ 建築費 720千円)
昭和 36 年	10 月 1 日	横道 彦吉 氏の寄贈による消防庁舎を新築 (1階補強コンクリートブロック造2階木造モルタル 延面積 326.23㎡ 建築費 3,471,878円)
	11 月 21 日	小清水4区の飲食店 (バー) の内部が半焼し焼死者2名
昭和 37 年	7 月 8 日	第1分団に網走信用金庫よりタンク車の寄贈を受け配備 (信用金庫号)
	8 月 4 日	望楼建設 (鉄筋造4脚 地上15m)
	10 月 5 日	第2分団に可搬動力ポンプを配備
	10 月 5 日	第3分団に可搬動力ポンプを配備
	10 月 23 日	小清水5区の農協車庫が半焼し焼死者1名
昭和 38 年	4 月 1 日	常勤団員を1名増員し4名となる
	5 月 3 日	優良少年消防クラブとして、止別少年消防クラブが全国テレビ放映される
	5 月 13 日	第5代団長に 中島 喜悦 氏が就任
	11 月 22 日	第3分団車庫を新築 (1階補強コンクリートブロック造2階木造モルタル塗 延面積 129.22㎡ 建築費 1,120千円)
	11 月 29 日	第2分団にタンク車を購入配備 (森田式 購入費 2,500千円)
昭和 39 年	12 月 21 日	第1分団にポンプ車を購入配備 (森田式 購入費 2,450千円) し、第1分団に配備していたポンプ車を第3分団に配置転換
昭和 40 年	6 月 10 日	第3分団に可搬動力ポンプを購入配備
	10 月 12 日	第1分団にポンプ車を購入配備 (森田式 購入費 2,450千円)
昭和 41 年	2 月 15 日	第3分団にタンク車を購入配備 (購入費 3,000千円のうち、上田産業株式会社より500千円、株式会社中島商店より250千円、小清水林産工業協同組合より250千円、小清水農業協同組合より250千円、小清水町開拓農業協同組合より250千円の総額1,500千円の寄附を受ける)
昭和 41 年	4 月 1 日	消防団常備部を設置 (部員4名)
昭和 43 年	8 月 1 日	常備部員1名増員し5名となる
昭和 44 年	4 月 1 日	任意消防本部を設置し庶務、予防の2編成となり職員5名により任意の救急業務を開始
	4 月 1 日	初代消防長に 山内 晴雄 氏が就任
	9 月	斜網澱粉工場株式会社より消防施設整備資金として、100千円の寄附を受ける
	11 月 15 日	第1分団にタンク車を購入配備 (森田式 購入費 4,000千円)
昭和 45 年	7 月 1 日	消防職員1名増員し6名となる
	11 月 12 日	北海道知事より竿頭綬が授与された

昭和 45 年 12 月 7 日	団旗購入（購入費 100千円のうち元団長 関根夫人より50千円の寄附）
12 月 12 日	日本赤十字社より救急自動車の配車を受ける（IB型）
昭和 46 年 12 月 1 日	職員待機宿舎を新築（3棟6戸 補強コンクリートブロック造 延面積 327.16㎡ 建築費 9,800千円）
昭和 47 年 4 月 19 日	第2分団に可搬動力ポンプを購入配備

【清里町】

大正 12 年 8 月	明治の末期開拓者の入村を散見、漸次沼地に商家が建設され、連担戸数40戸に達し、小市街の形態を備えた 私設消防組が設立され、初代組頭に 杉本 豊喜 氏が就任 斜里消防組より腕用ポンプ1台及び付属品、野坂 良吉 氏(網走市)より消防梯子1脚を寄贈、定員42名で発足
大正 14 年 10 月	第2代組頭に 村尾 次二 氏が就任
大正 15 年 12 月	第3代組頭に 湯浅 理三 氏が就任
昭和 3 年 4 月 10 日	公設上斜里消防組が設立され、初代組頭に 飯沼 弥八 氏が就任
5 月 20 日	20馬力ガソリンポンプを購入配備(420円)
昭和 4 年 6 月	第2代組頭に 関山 松二郎 氏が就任
昭和 5 年 5 月	優良消防組として、北海道警察部長より金馬簾一条の使用が許可された
5 月 27 日	私設札鶴消防組が設立され、初代組頭に 田淵 市太郎 氏が就任
5 月 27 日	札鶴消防組に機械置場を設置し、腕用ポンプを購入配備
11 月	上斜里消防組第3代組頭に 川村 幸助 氏が就任
昭和 6 年 4 月 1 日	札鶴消防組第2代組頭に 田高田 安吉 氏が就任
7 月 9 日	札鶴市街が大火に見舞われ11戸を焼失
10 月	上斜里消防組に機械置場と消防会館を新築(132㎡ 建築費 1.6千円)
昭和 7 年 6 月	上斜里消防組第4代組頭に 山田 一 氏が就任
7 月 1 日	公設札鶴消防組が設立され、初代組頭に 藤井 清基 氏が就任
昭和 8 年 7 月	上斜里市街地が大火に見舞われ28棟25戸が焼失
8 月	上斜里消防組第5代組頭に 高島 石太郎 氏が就任
9 月 7 日	6月30日に発生した上札鶴金沢木工場の火災に上斜里消防組が出動し、組員一同がその職責を全うし功績顕著と認められ上斜里消防組には金馬簾第1條の使用が認許された
昭和 9 年 6 月 10 日	上斜里消防組にガソリンポンプ1台を購入配備(購入費 2千円)
昭和 10 年 2 月	上斜里消防組第6代組頭に 木下 忠平 氏が就任
昭和 11 年 5 月 10 日	札鶴消防組に小清水消防組よりガソリンポンプ1台の寄贈を受け機械置場を増改築し組織の充実を図った
9 月 8 日	札鶴消防組 山口組頭外28名の寄附により札鶴消防組器具置場を建設(木造桁葺平屋建1棟 35.4㎡ 建設費 200円)
昭和 14 年 4 月 1 日	上斜里消防組が警防団と改称し斜里警防組第2分団となる(分団長 辻 稔 氏)
4 月 1 日	札鶴消防組が警防団と改称し小清水警防団第2分団となる(分団長 渡辺 武 氏)
4 月 1 日	上札鶴地区に小清水警防団第5分団が発足(分団長 大石 兼記 氏)
8 月	上札鶴地区に地元住民の寄附と警防団員の労力奉仕により機材置場を建設
昭和 16 年 10 月	第5分団(上札鶴)にガソリンポンプ車を購入配備(購入費 2千円)
昭和 17 年 2 月	第5分団(上札鶴)に地元住民の寄附によるガソリンポンプを購入配備(購入費 6,576円)
9 月	札鶴消防会館を地元住民の寄附により新築
昭和 18 年 7 月 1 日	上斜里分村により札鶴、上札鶴を合併し上斜里警防団となり、初代警防団長 辻 稔 氏、第1分団長 魚谷 林二 氏、第2分団長 渡辺 武 氏、第3分団長 国安 秀雄 氏が就任
9 月	団旗を購入し入魂式を執行
4 月 22 日	消防法の制定により警防団を解散し、上斜里村消防団を組織する
4 月 22 日	上斜里村消防団 初代団長に 辻 稔 氏が就任
昭和 24 年 4 月	消防本部に消防ポンプを購入配備(350千円)
11 月	消防本部に火の見櫓を建設
昭和 25 年 4 月 1 日	第2代消防団長に 魚谷 林二 氏が就任
9 月	消防本部庁舎を新築(178㎡ 建築費 610千円)
9 月	第3分団(緑地区)に機械置場及び消防会館を設置(109㎡ 建築費 230千円)
昭和 26 年 10 月	第2分団(札鶴地区)の機械置場を増改築(工事費 130千円)
10 月	消防職員を1名採用
12 月 30 日	消防本部に全村からの寄附により、消防ポンプ自動車を購入配備(購入費 1,900千円)し、消防本部に配備していたガソリンポンプを第3分団に配置転換
昭和 27 年 8 月 1 日	第2分団に手引き動力ポンプを購入配備(購入費 600千円)
昭和 29 年 4 月 1 日	上斜里村消防団に団本部を設置
8 月	消防本部に消防ポンプ自動車を購入配備(購入費 2,500千円)
昭和 30 年 4 月 1 日	第3代消防団長に 村尾 光雄 氏が就任
8 月 1 日	上斜里村消防団を清里町消防団に改称(定員 155名)
昭和 31 年 5 月 1 日	消防職員を1名増員(2名)
昭和 34 年 3 月 20 日	第2分団に消防ポンプ自動車を購入配備(購入費 1,480千円)
4 月 1 日	第4代消防団長に 篠田 鐘一 氏が就任
昭和 34 年 10 月 24 日	第3分団に消防ポンプ自動車を購入配備(購入費 1,980千円)

昭和 36 年 8 月 12 日	消防本部に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（購入費 2,850千円）
昭和 37 年 5 月 1 日	消防職員を1名増員（3名）
10 月 1 日	消防職員1名を第3分団に配属
昭和 38 年 4 月 1 日	消防職員を2名増員（5名）
4 月 1 日	消防職員1名を第2分団に配属
10 月 20 日	第3分団に可搬式小型動力ポンプを購入配備（購入費 350千円）
昭和 40 年 4 月 1 日	第5代消防団長に 矢島 正太郎 氏が就任
昭和 42 年 11 月 1 日	消防本部に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（購入費 3,500千円）
昭和 43 年 4 月 10 日	第2分団に可搬式小型動力ポンプを購入配備（購入費 380千円）
昭和 45 年 12 月 1 日	日本赤十字社より救急自動車（I B型）の配車を受け救急業務を開始
12 月 1 日	消防職員1名増員（6名）
昭和 46 年 10 月 18 日	第2分団に水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（購入費 4,600千円）
11 月 1 日	消防職員1名増員（7名）
11 月 18 日	北海道知事より竿頭綬が授与された
11 月 20 日	第2分団の消防庁舎及び職員宿舎を新築（129.6㎡ 建設費 5,020千円）
11 月 20 日	消防本部に職員住宅を新築（205㎡ 建設費 9,000千円）
昭和 47 年 8 月 10 日	第6代消防団長に 大西 章 氏が就任
9 月 3 日	第3分団の消防庁舎及び職員宿舎を新築（129.6㎡ 建設費 5,020千円）
9 月 3 日	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備（購入費 4,900千円）

歴 代 役 職 者 名 簿

管 理 者

令和3年7月1日現在

氏 名	就 任 期 間	備 考
藤 谷 豊	昭和48年3月17日～昭和54年4月30日	斜 里 町 長
船 津 英 雄	昭和54年5月1日～昭和62年4月30日	//
午 来 昌	昭和62年5月1日～平成19年4月30日	//
村 田 均	平成19年5月1日～平成23年4月30日	//
馬 場 隆	平成23年5月1日～ 現 在	//

副 管 理 者

氏 名	就 任 期 間	備 考
重 成 彰	昭和48年3月17日～昭和50年4月30日	小 清 水 町 長
山 内 晴 雄	昭和50年5月1日～昭和58年4月30日	//
北 岡 秋 一	昭和58年5月1日～昭和60年7月15日	//
高 島 温 厚	昭和60年8月26日～平成5年8月24日	//
河 合 淳	平成5年8月25日～平成17年8月24日	//
林 直 樹	平成17年8月25日～平成29年8月24日	//
久 保 弘 志	平成29年8月25日～ 現 在	//
中 村 彌 一	昭和48年3月17日～昭和50年4月30日	清 里 町 長
大 橋 道 生	昭和50年5月1日～平成7年4月30日	//
橋 場 博	平成7年5月1日～平成23年4月30日	//
櫛 引 政 明	平成23年5月1日～ 現 在	//
村 田 幸四郎	昭和48年3月17日～昭和50年2月24日	斜 里 町 助 役
高 橋 春 雄	昭和50年7月10日～昭和58年7月9日	//
松 葉 勇	昭和58年7月11日～昭和62年7月10日	//
横 山 保 雄	昭和62年7月11日～平成3年4月30日	//
皆 川 忠 義	平成3年5月9日～平成7年5月8日	//
関 根 郁 雄	平成7年10月2日～平成19年4月30日	//
川 副 秀 樹	平成19年7月1日～平成23年4月30日	斜 里 町 副 町 長
阿 部 義 則	平成23年8月1日～平成31年4月30日	//
北 雅 裕	令和元年5月10日～ 現 在	//

収 入 役

氏 名	就 任 期 間	備 考
浜 田 誠	昭和48年3月17日～昭和51年3月31日	斜 里 町 収 入 役
竹 内 博	昭和51年4月15日～昭和55年4月14日	//
松 葉 勇	昭和55年4月26日～昭和58年7月10日	//
長谷川 齊	昭和58年7月11日～平成7年7月10日	//
市 村 勝	平成7年10月2日～平成19年3月31日	//

※ 平成19年3月31日 収入役の廃止

議会議長

令和3年7月1日現在

氏名	就任期間	備考
赤木 寅一	昭和48年3月24日～昭和50年4月30日	斜里町議会議長
宮内 武	昭和50年6月29日～昭和62年4月30日	〃
永田 次男	昭和62年7月22日～平成3年4月30日	〃
寺谷 喜八	平成3年7月11日～平成7年4月30日	〃
畠山 良三	平成7年7月11日～平成15年4月30日	〃
村田 均	平成15年6月6日～平成19年1月30日	〃
木村 耕一郎	平成19年3月1日～平成31年4月30日	〃
金盛 典夫	令和元年5月27日～現在	〃

議会副議長

氏名	就任期間	備考
高橋 隆志	昭和48年3月24日～昭和49年12月30日	小清水町議会議長
岩船 康典	昭和50年3月29日～昭和50年4月30日	〃
原田 治市	昭和50年6月29日～昭和58年4月30日	清里町議会議長
高橋 泰治	昭和58年6月24日～昭和62年4月30日	〃
工藤 実	昭和62年7月22日～平成3年4月30日	小清水町議会議長
高橋 泰治	平成3年7月11日～平成7年4月30日	清里町議会議長
國定 榮司	平成7年7月11日～平成11年4月30日	小清水町議会議長
牧野 民夫	平成11年6月1日～平成15年4月30日	清里町議会議長
竹内 隼来	平成15年6月6日～平成19年4月30日	小清水町議会議員
村尾 富造	平成19年6月15日～平成23年4月30日	清里町議会議長
坂田 秀昭	平成23年7月8日～平成27年4月30日	小清水町議会議長
田中 誠	平成27年5月21日～平成31年4月30日	清里町議会議長
坂田 秀昭	令和元年5月27日～現在	小清水町議会議長

監査委員（識見）

氏名	就任期間	備考
長谷川 悦治	昭和48年3月24日～平成6年5月8日	斜里町監査委員
元木 光治	平成6年5月31日～平成10年5月30日	〃
鹿俣 悍規	平成10年6月2日～平成15年3月31日	〃
金澤 克	平成15年6月6日～平成25年3月31日	〃
小林 鋼一	平成25年5月15日～令和3年5月14日	〃
宮山 貢	令和3年5月15日～現在	〃
加藤 久雄	昭和48年3月24日～昭和50年6月23日	小清水町監査委員
嵯峨井 理作	昭和50年6月29日～昭和53年1月3日	〃
北岡 秋一	昭和53年3月23日～昭和58年4月5日	〃
織田 一	昭和58年6月24日～平成5年7月12日	〃
大出 進	平成5年12月27日～平成17年9月2日	〃
中島 正喜	平成17年9月27日～平成26年12月25日	〃
重成 一男	平成27年2月26日～現在	〃
渡辺 昇	昭和48年3月24日～昭和50年3月13日	清里町監査委員
此島 治	昭和50年3月29日～昭和51年6月23日	〃
田中 光男	昭和51年7月31日～平成59年6月3日	〃
太田 英夫	昭和59年6月30日～昭和63年2月20日	〃
藤川 清	昭和63年3月25日～平成7年3月31日	〃
清水 貞雄	平成7年4月1日～平成8年3月31日	〃
松木 憲昭	平成8年4月1日～平成20年3月31日	〃
篠田 恵介	平成20年5月8日～現在	〃

消 防 長

令和3年7月1日現在

氏 名	就 任 期 間	備 考
齊 藤 太 郎	昭和48年3月17日～昭和59年6月30日	斜里地区消防組合
松 葉 勇	昭和59年7月1日～昭和62年7月10日	// (消防長事務取扱)
畔 木 計 佳	昭和62年7月11日～平成3年3月31日	斜里地区消防組合
藤 井 孝	平成3年4月1日～平成7年10月15日	//
矢久保 塞	平成7年10月16日～平成14年3月31日	//
中 島 英 治	平成14年4月1日～平成18年3月31日	//
金 田 清 見	平成18年4月1日～平成20年3月31日	//
旭 仁	平成20年4月1日～平成27年3月31日	//
八 幡 盛 幸	平成27年4月1日～平成31年3月31日	//
今 野 克 美	平成31年4月1日～令和3年3月31日	//
佐 藤 慶 典	令和3年4月1日～ 現 在	//

署 長

氏 名	就 任 期 間	備 考
齊 藤 太 郎	昭和40年5月25日～昭和40年12月22日	斜里町 消防本部
和 田 新 二	昭和40年12月23日～昭和42年6月26日	//
村 上 健 吾	昭和42年6月27日～昭和45年1月7日	//
阿 部 年 男	昭和45年1月8日～昭和48年3月16日	斜里町 消防本部
	昭和48年3月17日～昭和58年6月30日	斜里地区消防組合
畔 木 計 佳	平成58年7月1日～平成3年3月31日	斜里地区消防組合
湯 浅 明	平成3年4月1日～平成4年3月31日	//
大 藤 實	平成4年4月1日～平成8年3月31日	//
橋 本 昭 夫	平成8年4月1日～平成9年3月31日	//
保 村 征 夫	平成9年4月1日～平成12年3月31日	//
青 島 敏	平成12年4月1日～平成21年3月31日	//
江 刺 隆 夫	平成21年4月1日～平成24年3月31日	//
田 中 宏	平成24年4月1日～平成26年3月31日	//
八 幡 盛 幸	平成26年4月1日～平成27年3月31日	//
七 條 信 之	平成27年4月1日～平成31年3月31日	//
佐 藤 慶 典	平成31年4月1日～令和3年3月31日	//
上 見 崇	令和3年4月1日～ 現 在	//

小清水分署長

氏 名	就 任 期 間	備 考
雪 下 勇	昭和48年3月17日～昭和52年3月31日	斜里地区消防組合
鬼 塚 日出男	昭和52年4月1日～昭和58年7月31日	//
和 田 良 典	昭和58年8月1日～平成元年10月15日	//
根 本 貢	平成元年10月16日～平成5年10月11日	//
坂 本 貞 雄	平成5年10月12日～平成10年3月31日	//
菅 原 末 治	平成10年4月1日～平成17年3月31日	//
島 敏 範	平成17年4月1日～平成19年3月31日	//
古 川 博	平成19年4月1日～平成22年3月31日	//
山 本 新 一	平成22年4月1日～平成24年3月31日	//
長 町 哲 夫	平成24年4月1日～平成27年3月31日	//
加 藤 省 二	平成27年4月1日～平成29年3月31日	//
不 破 和 巳	平成29年4月1日～ 現 在	//

清里分署長

令和3年7月1日現在

氏名	就任期間	備考
高木 幹 男	昭和48年3月17日～昭和50年7月6日	斜里地区消防組合
長尾 清	昭和50年7月7日～昭和54年7月9日	//
清水 貞 雄	昭和54年7月10日～昭和60年3月31日	//
服部 利 道	昭和60年4月1日～昭和63年7月10日	//
河合 健 宏	昭和63年7月11日～平成3年7月9日	//
阿部 誠	平成3年7月10日～平成5年2月25日	//
林 順 一	平成5年2月26日～平成7年3月31日	//
檜村 信 一	平成7年5月12日～平成15年3月31日	//
櫛引 政 明	平成15年4月1日～平成15年5月31日	//
荻野 美 樹	平成15年6月1日～平成17年3月31日	//
高橋 俊 幸	平成17年4月1日～平成24年3月31日	//
二瓶 正 規	平成24年4月1日～平成26年3月31日	//
河合 雄 司	平成26年4月1日～平成27年5月19日	//
野呂田 成 人	平成27年5月20日～平成30年3月31日	//
岡崎 亨	平成30年4月1日～令和3年3月31日	//
内野 智 也	令和3年4月1日～ 現 在	//

ウトロ分署長

氏名	就任期間	備考
湯浅 明	昭和57年6月1日～昭和61年3月31日	斜里地区消防組合
橋本 昭 夫	昭和61年4月1日～平成3年5月31日	//
長尾 勲	平成3年6月1日～平成7年5月31日	//
保村 征 夫	平成7年6月1日～平成9年3月31日	//
高橋 利 幸	平成9年4月1日～平成12年3月31日	//
田畑 伸 二	平成12年4月1日～平成18年3月31日	//
高橋 利 幸	平成18年4月1日～平成19年3月31日	//
江刺 隆 夫	平成19年4月1日～平成21年3月31日	//
七條 信 之	平成21年4月1日～平成26年3月31日	//
神田 和 幸	平成26年4月1日～平成29年4月30日	//
佐藤 慶 典	平成29年5月1日～平成31年3月31日	//
佐藤 栄 次	平成31年4月1日～ 現 在	//

消 防 団 長 (斜里町)

令和3年7月1日現在

氏 名	就 任 期 間	備 考
山 中 高 公	昭和22年7月27日～昭和24年5月28日	斜里町消防団
芳 賀 金 三	昭和24年5月29日～昭和27年1月30日	〃
中 村 次 吉	昭和27年1月31日～昭和28年8月26日	〃
水 柿 雄 四郎	昭和28年8月27日～昭和30年9月23日	〃
中 村 次 吉	昭和30年9月24日～昭和31年5月21日	〃
齊 藤 太 郎	昭和31年5月22日～昭和48年3月16日	〃
高 桑 華 夷治	昭和48年3月17日～昭和59年3月31日	斜里地区消防組合斜里消防団
青 木 栄	昭和59年4月1日～平成4年3月31日	〃
佐 野 幾 之介	平成4年4月1日～平成8年9月30日	〃
小 泉 勝 也	平成8年10月1日～平成11年5月31日	〃
佐 藤 力 蔵	平成11年6月1日～平成13年3月31日	〃
近 藤 正 廣	平成13年4月1日～平成19年3月31日	〃
上 野 敏 雄	平成19年4月1日～平成25年3月31日	〃
五十嵐 一 彦	平成25年4月1日～平成31年3月31日	〃
長谷川 宏 文	平成31年4月1日～ 現 在	〃

消 防 団 長 (小清水町)

氏 名	就 任 期 間	備 考
横 道 彦 吉	昭和22年8月28日～昭和24年5月30日	小清水村消防団
高 谷 金 作	昭和24年5月31日～昭和27年6月20日	〃
竹 村 菊 治	昭和27年6月21日～昭和28年9月30日 昭和28年10月1日～昭和29年9月26日	小清水村消防団 小清水町消防団
関 根 禎 作	昭和29年9月27日～昭和38年5月12日	小清水町消防団
中 島 喜 悦	昭和38年5月13日～昭和48年3月16日 昭和48年3月17日～昭和63年7月11日	小清水町消防団 斜里地区消防組合小清水消防団
高 嶋 寛	昭和63年7月12日～平成15年4月30日	〃
菅 野 満	平成15年5月1日～平成18年#月31日	〃
奥 村 寛	平成18年11月1日～平成29年3月31日	〃
不 破 泰 志	平成29年4月1日～ 現 在	〃

消 防 団 長 (清里町)

氏 名	就 任 期 間	備 考
辻 稔	昭和22年4月30日～昭和25年4月19日	上斜里村消防団
魚 谷 林 二	昭和25年4月20日～昭和30年3月31日	〃
村 尾 光 雄	昭和30年4月1日～昭和30年7月31日 昭和30年8月1日～昭和34年3月31日	上斜里村消防団 清里町消防団
篠 田 鐘 一	昭和34年4月1日～昭和40年3月31日	清里町消防団
矢 島 正 太 郎	昭和40年4月1日～昭和47年8月9日	〃
大 西 章	昭和47年8月10日～昭和48年3月16日 昭和48年3月17日～昭和49年2月11日	清里町消防団 斜里地区消防組合清里消防団
太 田 良 雄	昭和49年2月12日～昭和54年3月31日	〃
山 下 良 蔵	昭和54年4月1日～平成元年3月31日	〃
古 屋 信 一	平成元年4月1日～平成11年3月31日	〃
片 岡 保 弘	平成11年4月1日～平成18年3月31日	〃
湯 浅 猛 城	平成18年4月1日～平成21年3月31日	〃
高 橋 泰 雄	平成21年4月1日～平成25年3月31日	〃
森 崎 正 章	平成25年4月1日～平成27年3月31日	〃
竹 端 義 弘	平成27年4月1日～令和3年3月31日	〃
漆 原 淳	令和3年4月1日～ 現 在	〃

叙位・叙勲・褒章者名簿

消 防 本 部

令和3年7月1日現在

受章年月日	氏名	位階・勲章・褒章の種類	備考
平成 3 年11 月 3 日	齊 藤 太 郎	勲 四 等 瑞 宝 章	元斜里地区消防組合消防長
平成 13 年10 月 15 日	齊 藤 太 郎	従 五 位	元斜里地区消防組合消防長
平成 18 年11 月 3 日	畔 木 計 佳	瑞 宝 双 光 章	元斜里地区消防組合消防長
令和 3 年 1 月 13 日	畔 木 計 佳	正 七 位	元斜里地区消防組合消防長

消 防 署

受章年月日	氏名	勲章・褒章の種類	備考
平成 17 年 4 月 29 日	橋 本 昭 夫	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防署長
平成 17 年11 月 3 日	長 尾 勲	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防署次長
平成 18 年 4 月 29 日	大 藤 實	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防署長
平成 19 年 4 月 29 日	佐 藤 賢 二	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防司令補
平成 19 年 4 月 29 日	小 針 重 治	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防司令補
平成 19 年11 月 3 日	樽 見 清	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防司令
平成 20 年 4 月 29 日	保 村 征 夫	瑞 宝 単 光 章	元斜里地区消防組合消防署長

斜 里 消 防 団

受章年月日	氏名	勲章・褒章の種類	備考
平成 元 年11 月 3 日	高 桑 華 夷 治	勲 五 等 雙 光 旭 日 章	元斜里消防団団長
平成 5 年10 月 13 日	青 木 栄	勲 五 等 瑞 宝 章	元斜里消防団団長
平成 8 年 4 月 29 日	午 来 肇	勲 六 等 瑞 宝 章	元斜里消防団分団長
平成 9 年 4 月 29 日	佐 野 幾 之 介	勲 五 等 瑞 宝 章	元斜里消防団団長
平成 10 年11 月 3 日	牧 包 松	勲 六 等 瑞 宝 章	元斜里消防団分団長
平成 16 年11 月 3 日	佐 藤 力 蔵	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団団長
平成 18 年 4 月 29 日	惣 田 清 美	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団副団長
平成 21 年11 月 3 日	石 川 邦 男	瑞 宝 双 光 章	元斜里消防団副団長
平成 24 年11 月 3 日	近 藤 正 廣	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団団長
平成 25 年11 月 3 日	北 村 喜 義	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団分団長
平成 26 年11 月 3 日	浮 須 睦 昭	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団分団長
平成 27 年11 月 3 日	上 野 敏 雄	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団団長
平成 28 年11 月 3 日	山 田 隆 博	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団分団長
平成 29 年11 月 3 日	曾 根 明	瑞 宝 単 光 章	元斜里消防団分団長

小 清 水 消 防 団

受章年月日	氏名	勲章・褒章の種類	備考
昭和 60 年 4 月 29 日	小 林 政 憲	勲 六 等 瑞 宝 章	元小清水消防団分団長
平成 4 年11 月 3 日	中 島 喜 悦	勲 五 等 雙 光 旭 日 章	元小清水消防団団長
平成 6 年 4 月 29 日	森 茂	勲 六 等 単 光 旭 日 章	元小清水消防団副団長
平成 24 年 4 月 29 日	高 嶋 寛	瑞 宝 双 光 章	元小清水消防団団長
平成 25 年 4 月 29 日	前 橋 三 郎	瑞 宝 単 光 章	元小清水消防団副団長
平成 26 年 4 月 29 日	奥 村 寛	藍 綬 褒 章	前小清水消防団団長
平成 27 年11 月 3 日	小 野 博 幸	藍 綬 褒 章	元小清水消防団副団長

清 里 消 防 団

受章年月日	氏名	勲章・褒章の種類	備考
昭和 48 年11 月 3 日	魚 谷 林 二	勲 六 等 瑞 宝 章	元清里消防団団長
昭和 61 年 4 月 29 日	太 田 清	勲 七 等 青 色 桐 葉 章	元清里消防団分団長
平成 元 年 4 月 29 日	正 保 由 三	勲 七 等 青 色 桐 葉 章	元清里消防団部長
平成 7 年 1 月 9 日	山 下 良 蔵	勲 五 等 瑞 宝 章	元清里消防団団長
平成 12 年 4 月 29 日	古 屋 信 一	勲 五 等 瑞 宝 章	元清里消防団団長
平成 24 年11 月 3 日	片 岡 保 弘	瑞 宝 双 光 章	元清里消防団団長
平成 29 年 4 月 29 日	湯 浅 猛 城	瑞 宝 単 光 章	元清里消防団団長
令和 元 年 5 月 21 日	森 崎 正 章	瑞 宝 単 光 章	元清里消防団団長

組 合 現 況

組 合 現 況

総 計

面 積	世 帯 数	人 口
1,426.78 km ²	9,307 世 帯	19,753 人

〈 斜 里 町 勢 〉

① 位置及び面積

面 積	位 置		広 ぼ う		海岸線
	東 経	北 緯	東 西	南 北	
737.13 km ²	自 144° 33' 至 145° 22'	自 43° 44' 至 44° 21'	52.9km	72.7km	100km

② 地 勢

斜里町は、南東に千島火山帯をもって根室、目梨郡に境し、南は川上6号を経て斜里岳に至り清里町に、西はトーツル沼西側7線を以て小清水町に隣し、北は海岸線100kmに及び弓状三角形をなしている。

山々よりオホーツク海に注ぐ河川は、斜里川をはじめ30条余に及びその流域は地味肥沃であり、農業に適している。漁業は古く（安永4年）から、サケ、マスを主流としての進展がめざましく、また、知床国立公園は平成17年7月17日に世界自然遺産となり脚光をあびている。

③ 人口・世帯数の推移

3月31日（住民登録）

年 別	区 分	世 帯 数	人 口		
			男	女	計
昭 和	40年	4,014	9,367	8,648	18,015
〃	50年	5,641	7,605	8,114	15,719
〃	60年	5,004	7,679	7,956	15,635
平 成	10年	5,263	6,901	7,782	14,683
〃	15年	5,387	6,640	6,943	13,583
〃	16年	5,397	6,587	6,866	13,453
〃	17年	5,429	6,568	6,815	13,383
〃	18年	5,519	6,530	6,782	13,312
〃	19年	5,539	6,487	6,720	13,207
〃	20年	5,516	6,358	6,628	12,986
〃	21年	5,530	6,292	6,554	12,846
〃	22年	5,542	6,248	6,512	12,760
〃	23年	5,540	6,200	6,434	12,634
〃	24年	5,575	6,148	6,384	12,532
〃	25年	5,612	6,107	6,369	12,476
〃	26年	5,551	6,010	6,241	12,251
〃	27年	5,562	5,947	6,139	12,086
〃	28年	5,612	5,884	6,051	11,935
〃	29年	5,600	5,821	5,973	11,794
〃	30年	5,588	5,752	5,920	11,672
〃	31年	5,555	5,666	5,849	11,515
令 和	2年	5,599	5,651	5,791	11,442
〃	3年	5,488	5,507	5,675	11,182

〈 小 清 水 町 勢 〉

① 位置及び面積

面 積	位 置		広 ぼ う		海岸線
	東 経	北 緯	東 西	南 北	
286.89 km ²	自 144° 20' 至 145° 33'	自 43° 40' 至 43° 57'	18.3km	30.4km	15.8km

② 地 勢

小清水町は、南界を北見山地が形成する南部山岳地帯から北部はオホーツク海に面して低下し、東西に起伏した丘陵に沿って止別川・浦士別川が流れており、東西にやや波状形をなしている。

南部山岳地帯は国有林の深山であり平地は、いずれも農耕地に適しており、てん菜（ビート）、馬鈴薯、人参等の農作物と牧畜・酪農もまた非常に盛んであり、また、網走国定公園内のオホーツク海に面し小清水原生花園がある。

③ 人口・世帯数の推移

3月31日（住民登録）

年 別	区 分	世 帯 数	人 口		
			男	女	計
昭 和	40年	2,320	5,531	5,537	11,068
〃	50年	2,192	4,077	4,222	8,299
〃	60年	2,214	3,648	3,897	7,545
平 成	10年	2,125	3,115	3,380	6,495
〃	15年	2,175	2,938	3,277	6,215
〃	16年	2,156	2,864	3,244	6,108
〃	17年	2,167	2,849	3,113	5,962
〃	18年	2,161	2,745	3,034	5,779
〃	19年	2,170	2,720	3,007	5,727
〃	20年	2,168	2,662	2,968	5,630
〃	21年	2,174	2,627	2,931	5,558
〃	22年	2,173	2,610	2,893	5,503
〃	23年	2,149	2,572	2,844	5,416
〃	24年	2,142	2,554	2,795	5,349
〃	25年	2,125	2,508	2,758	5,266
〃	26年	2,152	2,494	2,750	5,244
〃	27年	2,156	2,455	2,729	5,184
〃	28年	2,128	2,419	2,675	5,094
〃	29年	2,150	2,387	2,660	5,047
〃	30年	2,136	2,355	2,587	4,942
〃	31年	2,108	2,308	2,536	4,844
令 和	2年	2,065	2,257	2,475	4,732
〃	3年	2,063	2,204	2,444	4,648

〈 清 里 町 勢 〉

① 位置及び面積

面 積	位 置		広 ぼ う		海岸線
	東 経	北 緯	東 西	南 北	
402.76 km ²	自 144° 29' 至 144° 44'	自 43° 36' 至 43° 53'	21.0km	32.0km	0km

② 地 勢

清里町はオホーツク総合振興局管内の南東に位置し、東は斜里岳頂上よりサマツケヌプリ山、標津岳頂上を経て分水嶺を南進摩周湖に達し、根室振興局管内標津郡中標津町と北6号を基点として、15線30号より分水嶺を南進摩周湖に達し、小清水町と南は釧路総合振興局管内川上郡弟子屈町に隣接している。

土地は概ね斜里川及びウエンベツ川流域が平坦で沃野が拓け、東部斜里岳及び江鳶山麓並びにウエンベツ川、西部は高台で地味は肥沃でありいずれも農耕に適し、てん菜（ビート）・馬鈴薯・麦類等が耕作されている。南部は札弦地区から緑地区と山峡帯状にのびており、畑作とともに酪農も盛んである。

③ 人口・世帯数の推移

3月31日（住民登録）

年別	区分	世 帯 数	人 口		
			男	女	計
昭 和	40年	2,126	5,501	5,460	10,961
〃	50年	2,075	3,717	3,854	7,571
〃	60年	1,945	3,164	3,313	6,477
平 成	10年	1,908	2,620	2,782	5,402
〃	15年	1,920	2,497	2,656	5,153
〃	16年	1,928	2,491	2,623	5,114
〃	17年	1,913	2,476	2,579	5,055
〃	18年	1,884	2,379	2,508	4,887
〃	19年	1,875	2,348	2,468	4,816
〃	20年	1,875	2,314	2,438	4,752
〃	21年	1,863	2,272	2,372	4,644
〃	22年	1,862	2,234	2,343	4,577
〃	23年	1,845	2,196	2,325	4,521
〃	24年	1,860	2,197	2,294	4,491
〃	25年	1,845	2,170	2,268	4,438
〃	26年	1,836	2,141	2,243	4,384
〃	27年	1,838	2,142	2,227	4,369
〃	28年	1,802	2,088	2,175	4,263
〃	29年	1,782	2,062	2,118	4,180
〃	30年	1,791	2,062	2,096	4,158
〃	31年	1,764	2,016	2,043	4,059
令 和	2年	1,759	1,956	2,021	3,977
〃	3年	1,756	1,927	1,996	3,923

消 防 庁 舎 等 一 覧 表

令和3年7月1日現在

区域	名 称	所 在 地	構 造	建 物 面 積	建 築 年
斜 里 町	消 防 本 部 消 防 署 斜 里 消 防 団 第 1 分 団	斜里町 本町14-3	事務所：鉄筋コンクリート造 車 庫：鉄骨造 5階建	1,818.33 m ²	事務所：平成28年 4月 車 庫：平成29年 3月
	斜 里 消 防 団 第 2 分 団	斜里町 字中斜里38-17	木造 平屋建	72.87 m ²	平 成 4 年 3 月
	斜 里 消 防 団 第 3 分 団	斜里町 字以久科24-2	鉄骨造 平屋建	69.64 m ²	昭 和 47 年 9 月 (平成11年10月改築)
	斜 里 消 防 団 第 4 分 団	斜里町 字三井182-6	鉄骨造 平屋建	69.64 m ²	昭 和 46 年 11 月 (平成10年 7月改築)
	斜 里 消 防 団 第 5 分 団	斜里町 字峰浜41-3	鉄骨造 平屋建	69.64 m ²	昭 和 48 年 11 月 (平成 8 年 8 月改築)
	ウ ト ロ 分 署 斜 里 消 防 団 第 6 分 団	斜里町 ウトロ香川2	コンクリート ブロック造 2階建	609.46 m ²	昭 和 56 年 12 月 (平成12年12月増築)
小 清 水 町	小 清 水 分 署 小 清 水 消 防 団 第 1 分 団	小清水町 元町1丁目 38番1号	鉄筋コンクリート造 2階建	1,128.67 m ²	平 成 20 年 12 月
	小 清 水 消 防 団 第 2 分 団	小清水町 字止別79-1	木造サイディング張り 一部鉄骨造 平屋建	175.68 m ²	平 成 4 年 10 月
	小 清 水 消 防 団 第 3 分 団	小清水町 字浜小清水 58-3	木造サイディング張り 一部鉄骨造 平屋建	132.84 m ²	平 成 6 年 11 月
清 里 町	清 里 分 署 清 里 消 防 団 第 1 分 団	清里町 羽衣町13	鉄筋コンクリート造 平屋建	430.59 m ²	昭 和 48 年 12 月
	清 里 消 防 団 第 2 分 団	清里町 札弦町26	鉄骨造 平屋建	112.50 m ²	平 成 24 年 3 月
	清 里 消 防 団 第 3 分 団	清里町緑町7	鉄筋モルタル造 2階建	129.60 m ²	昭 和 47 年 9 月

消 防 水 利 現 況

令和3年7月1日現在

地域別 区分		消 火 栓		防 火 水 槽		
		基 準	基 準 外	40㎡以上	40㎡未満	井 戸 等
斜 里 町	市 街 地	76	43	11		1
	ウ ト 口	15	5	2	1	
	中 斜 里	7	2			
	以 久 科				2	
	三 井				1	
	峰 浜		1		1	
	その他の地域	2	6	1		
	小 計	100	57	14	5	1
小 清 水 町	元 町	2	12	8		
	南 町	16	6	11	2	
	止 別	2	2	5	1	
	浜 小 清 水		4	3	1	
	その他の地域	1	2			
	小 計	21	26	27	4	
清 里 町	羽 衣 町 等	42		16	3	
	札 弦 町	8	2	12	2	
	緑 町	7		7		
	その他の地域					
	小 計	57	2	35	5	
合 計	178	85	76	14	1	

※ 「井戸等」は、井戸、プール、20㎡未満の防火水槽をいう。

消 防 用 機 械 現 況

令和3年7月1日現在

所属及び車名		区 分	年 式	経 過 年 数	消 防 自 動 車 の 種 類	シャシ メーカ	乗 車 人 員	ポ ン プ		タ ン ク 容 量 (㍓)	備 考
								型 式	級 別		
消 防 本 部		連 絡 車	2014	6	普 通 乗 用	トヨタ	5				4輪駆動
斜 里	消 防 署	斜里指揮1	1992	29	指 令 車	トヨタ	5				4輪駆動・電動式ウインチ搭載
		斜里救急1	2012	8	救 急 車	トヨタ	7				4輪駆動（JA共済連）
		斜里救急3	2010	11	救 急 車	トヨタ	7				4輪駆動（斜里第一漁協）
		斜里タック1	1990	30	タ ン ク 車	イズズ	7	森田ポンプ2段 バランスタービン	A-2	7,000 ㍓	2デフ・照明装置
		斜里水槽1	1984	36	水 槽 車	ニッサン	2			9,700 ㍓	2デフ・シバウラポンプ搭載
		斜里タック2	2021	0	ポ ン プ 車	日 野	6	モリタM Z I CAFD S 装置	A-2	1,200 ㍓	CAFS装置搭載
		斜里搬送1	2002	19	資機材運搬車	トヨタ	3				4輪駆動
		斜里支援1	1993	27	動 員 車	トヨタ	29				
		斜里広報1	1998	23	指 揮 広 報 車	トヨタ	5				4輪駆動（日消）
	第 1 分 団	斜里ホッ1	1988	32	ポ ン プ 車	三 菱	7	森田ポンプ2段 バランスタービン	A-2		救助資機材・電動式ウインチ
	第 2 分 団	斜里202	1992	28	積 載 車	三 菱	10				4輪駆動・シバウラポンプ積載
	第 3 分 団	斜里203	1990	30	積 載 車	三 菱	10				4輪駆動・シバウラポンプ積載
	第 4 分 団	斜里204	1991	29	積 載 車	三 菱	10				4輪駆動・シバウラポンプ積載
	第 5 分 団	斜里205	1993	27	積 載 車	三 菱	10				4輪駆動・シバウラポンプ積載
	ウトロ分署	ウトロ指揮	2004	17	指 令 車	トヨタ	8				4輪駆動・リモコンサーチライト
		斜里救急2	2020	1	救 急 車	トヨタ	7				4輪駆動
		ウトロタンク1	1990	31	タ ン ク 車	イズズ	7	森田ポンプ2段 バランスタービン	A-2	7,000 ㍓	2デフ・照明装置
		ウトロはしご	2001	20	梯 子 車	ニッサン	5				4輪操舵、カニ操舵方式、3.8m級
	第 6 分 団	ウトロタンク2	1998	22	タ ン ク 車	三 菱	7	日機ポンプ2段 バランスタービン	A-1	2,000 ㍓	救助資機材（損保）
		ウトロタンク3	1996	25	タ ン ク 車	日 野	7	森田ポンプ2段 バランスタービン	A-2	6,000 ㍓	2デフ・トーハツ小型ポンプ積載

所属及び車名		区分	年式	経過 年数	消 防 自 動 車 の 種 類	シャシ メーカー	乗車 人員	ポンプ		タンク 容量 (ℓ)	備 考	
								型 式	級 別			
小 清 水	小清水分署	指令車	2002	18	指令車	トヨタ	8				4輪駆動・電動式ウィンチ	
		救急車	2019	1	救急車	トヨタ	7				4輪駆動 (JA共済連)	
		1号車	2011	10	タンク車	日野	6	日本機械 R3 10016F	A-2	6,000 ℓ	2デフ・泡自動混合・照明装置 救助資機材・梯子自動昇降装置	
		5号車	1985	35	水槽車	三菱	3		B-2	9,700 ℓ	2デフ・シハラポンプ搭載	
	第1分団	資機材車	1992	28	資機材車	トヨタ	6					
		2号車	1995	25	タンク車	三菱	7	日本機械 R3 957141F	A-2	2,500 ℓ	救助資機材・電動式ウィンチ 照明装置・2連梯子自動昇降装置	
		3号車	2014	7	タンク車	日野	6	日本機械 R3 13245F	A-2	3,000 ℓ	2デフ・泡自動混合・照明装置 梯子自動昇降装置	
		動員車	1997	23	動員車	トヨタ	29					
	第2分団	6号車	1988	32	タンク車	イズズ	7	モリタME-7A- H 05308	A-1	2,000 ℓ	(損保)	
	第3分団	7号車	1991	29	タンク車	三菱	6	日本機械 R3 y15646 F	A-2	2,000 ℓ		
清 里	清里分署	指令車	2009	11	指令車	ニッサン	7				4輪駆動	
		救急車	2010	11	救急車	トヨタ	7				4輪駆動	
		3号車	1993	27	タンク車	ニッサン	7	日本機械 J1 967264	A-2	6,500 ℓ	2デフ	
	第1分団	1号車	1983	37	タンク車	ニッサン	7	モリタ MF-5 B 02092	A-2	3,000 ℓ		
		2号車	1996	25	タンク車	ニッサン	7	日本機械 J1 936433	A-2	3,000 ℓ	照明装置・2連梯子自動昇降装置	
		4号車	1999	21	救助工作車	イズズ	7				4輪駆動・照明装置・救助資機材 シハラポンプ積載	
	第2分団	6号車	2020	0	タンク車	日野	6	モリタ MZ-1 1 N 03106	A-2	800 ℓ	4輪駆動・CAFS装置・大型照明装置	
		7号車	1986	34	積載車	三菱	10		B-2		シハラポンプ積載	
	第3分団	8号車	1989	31	タンク車	三菱	2	田 井 3HA2 01296	A-2	2,000 ℓ		
		9号車	1984	35	積載車	トヨタ	5		B-2		4輪駆動・シハラポンプ積載	

小型動力ポンプ

令和3年7月1日現在

所属及び分団	区分	機種	年式	経過年数	出力 P s	ポンプ			備考
						型式	級別	放水量 m ³ /分	
斜里	消防署	シバウラ	2002	18	56	片吸込高圧1段タービン (インデューサ付)	B-2	1.34 m ³ /分	斜里水槽1に搭載
	第1分団	トーハツ	2011	9	46	片吸込1段タービン	〃	1.29 m ³ /分	斜里ポンプ1に搭載
	第2分団	シバウラ	2007	13	56	片吸込高圧1段タービン (インデューサ付)	〃	1.34 m ³ /分	分団積載車に搭載
	第3分団	〃	2005	15	〃	〃	〃	〃 m ³ /分	〃
	第4分団	〃	2006	14	〃	〃	〃	〃 m ³ /分	〃
	第5分団	〃	2008	12	〃	〃	〃	〃 m ³ /分	〃
	第6分団	トーハツ	2016	4	22	片吸込1段タービンポンプ	〃	1.00 m ³ /分	ウトロタンク3に搭載
小清水	小清水分署	シバウラ	1998	23	54	片吸込高圧1段タービン (インデューサ付)	B-2	1.12 m ³ /分	5号車に搭載
	第1分団	〃	2007	14	62	〃	〃	1.29 m ³ /分	資機材車に搭載
	第2分団	〃	2010	11	62	〃	〃	〃 m ³ /分	分団車庫に常置
	第3分団	〃	2010	11	62	〃	〃	〃 m ³ /分	分団車庫に常置
清里	第1分団	シバウラ	2016	5	44	片吸込高圧1段タービン (インデューサ付)	B-2	1.32 m ³ /分	4号車(救助工作車)に搭載
	第2分団	〃	2017	3	44	〃	〃	1.32 m ³ /分	7号車(積載車)に搭載
	第3分団	〃	1999	21	54	片吸込高圧1段タービン	〃	1.42 m ³ /分	9号車(積載車)に搭載

予 算

構成町予算内訳

令和3年4月1日現在
(単位：千円)

区分 町名	町一般会計 予算額	消 防 予 算					比 率 %
		消 防 本 部 費	常 備 消 防 費	非 常 消 防 費	消 防 施 設 費	合 計	
斜 里 町	8,404,000	99,490	332,064	21,778	77,165	530,497	6.31
小 清 水 町	5,264,000	16,551	130,054	16,940	0	163,545	3.11
清 里 町	5,233,000	16,022	167,500	15,444	24,365	223,331	4.27
總 計	18,901,000	132,063	629,618	54,162	101,530	917,373	4.85

人口・世帯に対する割合

令和3年4月1日現在

区分 町名	消 防 予 算		消 防 職 員		消 防 団 員		ポ ン プ 車	
	1 人 当 り 円	1 世 帯 当 り 円	1 人 対 し 人	1 人 対 し 世 帯	1 人 対 し 人	1 人 対 し 世 帯	1 台 対 し 人	1 台 対 し 世 帯
斜 里 町	47,442	96,664	279	137	90	44	1,863	914
小 清 水 町	35,186	79,275	290	128	52	23	929	412
清 里 町	56,928	127,181	245	109	54	24	784	351
平 均	46,519	101,040	271	125	65	30	1,192	559

令和3年度 一般会計歳入歳出予算（当初）

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額	説 明
1. 分担金及び負担金	1 負 担 金	913,938	斜里 528,569 小清水 162,038 清里 223,331
2. 使用料及び手数料	1 手 数 料	100	
3. 財 産 収 入	1 財 産 運 用 収 入	3,429	斜里 1,924 小清水 1,505
	2 財 産 売 払 収 入	0	
4. 繰 越 金	1 繰 越 金	600	
5. 諸 収 入	1 組 合 預 金 利 子	3	本部 1 斜里 1 小清水 1
	2 雑 入	7	本部 3 斜里 3 小清水 1
6. 組 合 債	1 組 合 債	0	
歳 入 合 計		918,077	

歳 出

(単位：千円)

節	項	議会費	消 防 本部費	公平委 員会費	監 査 委員費	常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	公債費	予備費
1.	報 酬	294			137		13,701			
2.	給 料		20,200			235,128				
3.	職 員 手 当		10,355			170,237				
4.	共 済 費		6,464			81,109				
7.	報 償 費					5	204			
8.	旅 費		1,275			8,338	30,992	103		
9.	交 際 費	20	30				240			
10.	需 用 費	32	2,675		14	49,823	5,716			
11.	役 務 費	5	817			17,340	72	84		
12.	委 託 料		16,828			8,181	637	22,677		
13.	使用料及び賃借料		695			3,272	270	2,256		
14.	工 事 請 負 費							1,585		
15.	原 材 料 費					80				
16.	公 有 財 産 購 入 費					318				
17.	備 品 購 入 費		649			9,257		74,644		
18.	負担金補助及び交付金	63	14,259	25	8	44,199	2,330			
21.	補償補填及び賠償金					1				
22.	償還金利子及び割引料								57,797	
24.	積 立 金									
26.	公 課 費		25			2,330		181		
	予 備 費									100
	計	414	74,272	25	159	629,618	54,162	101,530	57,797	100
歳 出 合 計		918,077 千円								

備 考

令和3年度主要事業（当初予算）

斜 里 町	<ul style="list-style-type: none"> デジタル無線・指令システム購入事業 消防団員被服購入事業 はしご車整備事業 消防車両更新事業
-------------	---

小 清 水 町	
------------------	--

清 里 町	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令・デジタル無線設備維持管理事業 消防水利設備維持管理事業
-------------	---

火災概況

当組合の、令和2年中の火災発生件数は20件（令和元年中は、14件）で、建物の焼損面積は471平方メートル、損害額6,820千円と、前年に比較すると件数では、6件の増、面積では408平方メートルの減、損害額で12,006千円の減となっております。

過去10ヶ年間月別火災発生状況

(平成23年～令和2年)

年別	月別 町別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		23	斜里	2		1		4						
	小清水		1			1				1				3
	清里			1										1
	計	2	1	2		5				1		1		12
24	斜里	1			3	1			1	2		1	1	10
	小清水							1					1	2
	清里		1		1	2	1							5
	計	1	1		4	3	1	1	1	2		1	2	17
25	斜里			1			1	1	1		1			5
	小清水	1		1					1					3
	清里								1			1		2
	計	1		2			1	1	3		1	1		10
26	斜里					1	1	1			2		1	6
	小清水	1	1					1	1				1	5
	清里							1			1			2
	計	1	1			1	1	3	1		3		2	13
27	斜里	1	1			1	1		1	1	2			8
	小清水				1				2	1	1	1		6
	清里				2			1					1	4
	計	1	1		3	1	1	3	2	1	3	1	1	18
28	斜里	1	1			1						1		4
	小清水								1					1
	清里									1			1	2
	計	1	1			1			1	1		1	1	7
29	斜里	1		1		1	1	1			1	2		8
	小清水	1		2	1							1	1	6
	清里		1	1	1		1			1				5
	計	2	1	4	2	1	2	1		1	1	3	1	19
30	斜里	2			3				2		1	2		10
	小清水			1	1								1	3
	清里				1						1			2
	計	2		1	5				2		2	2	1	15
元	斜里		2	1	1	2			1		1	1		9
	小清水				1			1				1		3
	清里									1		1		2
	計		2	1	2	2		1	1	1	1	3		14
2	斜里			1	1	3		1	2			1	1	10
	小清水		1	2	2	1	1				1			8
	清里								2					2
	計		1	3	3	4	1	1	4		1	1	1	20
計	斜里	8	4	5	8	14	4	4	8	3	8	9	3	78
	小清水	3	3	6	6	2	1	5	4	1	2	3	4	40
	清里		2	2	5	2	2	2	3	3	2	2	2	27
合計		11	9	13	19	18	7	11	15	7	12	14	9	145

令和2年中 火災統計

月別	焼損面積及び損害額 種別 町別		火災件数						建物 焼損 床面積 (㎡)	建物 焼損 表面積 (㎡)	林野 焼損 面積 (a)	火災 損害 額 (千円)	累 計 (千円)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)			
			合 計	建 物				車 両								林 野	船 舶	そ の 他
				全 焼	半 焼	部 分 焼	小 火											
1月	斜里																	
	清水																	
	計																	
2月	斜里	1		1				2			45	45						
	清水																	
	計	1		1				2			45	45						
3月	斜里	1	1					7	2		120	120		1				
	清水	2		1	1			89	44		3,581	3,626						
	計	3	1	1	1			96	46		3,701	3,746		1				
4月	斜里	1						6	5	11	45	165						
	清水	2				1					467	4,093						
	計	3				1		6	5	11	512	4,258						
5月	斜里	3				1				2	190	355						
	清水	1	1					369	3		1,690	5,783						
	計	4	1			1		369	3	2	1,880	6,138						
6月	斜里											355						
	清水	1										5,783						
	計	1										6,138						
7月	斜里	1				1				2	450	805						
	清水											5,783						
	計	1				1				2	450	6,588						
8月	斜里	2								29		805						
	清水	2			1				1	0	7	5,783						
	計	4			1				3	0	30	7	6,595					
9月	斜里											805						
	清水											5,783						
	計											7	6,595					
10月	斜里											805						
	清水	1			1					1	79	5,862						
	計	1			1					1	79	7	6,674					
11月	斜里	1				1					10	815						
	清水											5,862						
	計	1				1					10	7	6,684					
12月	斜里	1				1					136	951						
	清水											5,862						
	計	1				1					136	7	6,820					
総計	斜里	10	1		2	2		5	13	7	52	951	951		1			
	清水	8	1	1	3	1		2	458	50		5,862	5,862					
	計	2			1			1	0	1	7	7						
	合計	20	2	1	3	3	3	8	471	57	53	6,820	6,820		1			

予 防 ・ 危 険 物

防火対象物状況 (150㎡以上)

令和3年7月1日現在

町 別		斜 里 町	小 清 水 町	清 里 町	計	
防火対象物の別 (消防法施行令別表第1)						
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1	1	2	
	ロ	公会堂又は集会場	10	13	7	30
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これに類するもの				
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	1	1	4
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗その他これに類するものとして総務省令で定めるもの				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの	1	1		1
3	イ	待合、料理店その他これに類するもの				
	ロ	飲食店	22	13	4	39
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	32	10	9	51
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これに類するもの	31	1	7	39
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	208	50	36	294
6	イ	病院、診療所又は助産所	7	1	1	9
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム（主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。）、介護老人保健施設、救護施設、乳児院、知的障害児施設、盲ろうあ児施設（通所施設を除く。）、肢体不自由児施設（通所施設を除く。）、重症心身障害児施設、障害者支援施設（主として障害の程度が重い者を入所させるものに限る。）、老人福祉法（昭和三十八年法律第百三十三号）第五条の二第四項若しくは第六項に規定する老人短期入所事業若しくは認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設又は障害者自立支援法（平成十七年法律第百二十三号）第五条第八項若しくは第十項に規定する短期入所若しくは共同生活介護を行う施設（主として障害の程度が重い者を入所させるものに限る。ハにおいて「短期入所等施設」という。）	8	2	1	11
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム（主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。）、更生施設、助産施設、保育所、児童養護施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設（通所施設に限る。）、肢体不自由児施設（通所施設に限る。）、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、身体障害者福祉センター、障害者支援施設（主として障害の程度が重い者を入所させるものを除く。）、地域活動支援センター、福祉ホーム、老人福祉法第五条の二第三項若しくは第五項に規定する老人デイサービス事業若しくは小規模多機能型居宅介護事業を行う施設又は障害者自立支援法第五条第六項から第八項まで、第十項若しくは第十三項から第十六項までに規定する生活介護、児童デイサービス、短期入所、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援若しくは共同生活援助を行う施設（短期入所等施設を除く。）	14	3	3	20
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1	1	3
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これに類するもの	9	2	2	13
8		図書館、博物館、美術館その他これに類するもの	4		1	5
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これに類するもの				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	1	1	4
10		車両の停車場又は船舶又は航空機の発着場	1	2		3
11		神社、寺院、教会その他これに類するもの	11	11	8	30
12	イ	工場又は作業場	84	28	14	126
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場	21	8	1	30
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	141	35	19	195
15		前各項に該当しない事業所	141	102	23	266
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その1部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	55	12	11	78
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	44	4	2	50
計			850	302	152	1,303

防火管理者講習実施状況

令和3年7月1日現在

回数	講習年月日	修了者数	備考
1	昭和 40 年 12 月 7・8 日	75 名	斜里消防署（政令指定により）
2	昭和 41 年 12 月 1・2 日	47 名	〃
3	昭和 44 年 1 月 16・17 日	92 名	〃
4	昭和 46 年 1 月 18・19 日	88 名	〃
5	昭和 47 年 1 月 17・18 日	74 名	〃
6	昭和 48 年 11 月 20・21 日	106 名	斜里地区消防組合 消防本部
7	昭和 50 年 11 月 15・16 日	55 名	〃
8	昭和 56 年 1 月 17・18 日	117 名	〃
9	昭和 59 年 2 月 20・21 日	57 名	〃
10	平成 18 年 2 月 10 日	32 名	〃（再講習）
11	平成 18 年 12 月 4・5 日	44 名	〃
12	平成 20 年 10 月 28・29 日	53 名	〃
13	平成 21 年 10 月 28 日	8 名	〃（再講習）
14	平成 22 年 10 月 26・27 日	34 名	〃
15	平成 23 年 10 月 26 日	14 名	〃（再講習）
16	平成 24 年 9 月 27・28 日	32 名	〃
17	平成 25 年 9 月 27 日	5 名	〃（再講習）
18	平成 26 年 10 月 2・3 日	31 名	〃
19	平成 27 年 10 月 2 日	9 名	〃（再講習）
20	平成 28 年 11 月 8・9 日	33 名	〃
21	平成 29 年 10 月 5 日	14 名	〃（再講習）
22	平成 30 年 11 月 6・7 日	31 名	〃
23	令和 元年 11 月 13 日	7 名	〃（再講習）
24	令和 2 年 11 月 5・6 日	41 名	〃
計		1,099 名	

危険物の状況

危険物施設状況

令和3年7月1日現在

施設種類 地域別		合計	貯蔵所							取扱所				
			製造所	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	簡易タンク	給油	一般	販売	
斜里町	市街地	朝日町	4					2				2		
		本町	5					5						
		前浜町	3					3						
	その他の地域	港町	12					3	5			1	3	
		西町	4			2		1					1	
		文光町	16					8	4	1		1	2	
		光陽町	2					1				1		
		青葉町	5					5						
	その他の地域	新光町	5						1			4		
		豊倉	5						2			3		
		川上	13		2	6		1		1			3	
		中斜里	8			1		1	1			3	2	
		峰浜	2					2						
		以久科	15		1			7				1	6	
ウト口	28			3		12	6			3	4			
上記以外の地域	19			4		5	7			1	2			
合計		146		3	16		56	26	2		20	23		
小清水町	市街地	小清水	27					7	10	1		5	4	
		止別												
		浜小清水	1									1		
	その他の地域	中里												
		神浦												
		上徳												
		美和	4					2					2	
共和	5			3		1					1			
旭														
東野														
合計		37			3		10	10	1		6	7		
清里町	市街地	清里町	36		1	2		18	5			3	7	
		札弦町	2									2		
		緑町	4					2	1				1	
	その他の地域	清泉												
		神威	14			2		5		1			6	
		向陽												
上斜里	4			1				1	1		1			
合計		60		1	5		25	7	2		5	15		
総合計		243		4	24		91	43	5		31	45		

危険物製造所等貯蔵取扱状況

令和3年7月1日現在

施設別 区分・地域別		製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
倍数が5以下	斜 里		1	4		26	23	2		6	62
	小 清 水			1		3	3			1	8
	清 里			3		11	7			5	26
	計		1	8		40	33	2		12	96
倍数が5を 超え10以下	斜 里			5		12			2	9	28
	小 清 水			1		1	7	1		2	12
	清 里		1			7		1		5	14
	計		1	6		20	7	2	2	16	54
倍数が10を 超え50以下	斜 里		2	6		15	2		10	6	41
	小 清 水			1		5			4	4	14
	清 里			2		7		1	1	5	16
	計		2	9		27	2	1	15	15	71
倍数が50を 超え100以下	斜 里					3				1	4
	小 清 水										
	清 里								3		3
	計					3			3	1	7
倍数が100を 超え150以下	斜 里						1		1	1	3
	小 清 水										
	清 里								1		1
	計						1		2	1	4
倍数が150を 超え200以下	斜 里								5		5
	小 清 水								1		1
	清 里										
	計								6		6
倍数が200を 超えるもの	斜 里			1					2		3
	小 清 水					1			1		2
	清 里										
	計			1		1			3		5
合 計	斜 里		3	16		56	26	2	20	23	146
	小 清 水			3		10	10	1	6	7	37
	清 里		1	5		25	7	2	5	15	60
総 合 計			4	24		91	43	5	31	45	243

救 急 概 況

昭和48年3月に斜里地区消防組合が発足、構成3町それぞれに救急自動車の配備をし
救急業務に従事しておりますが、世界自然遺産登録地域をはじめ小清水原生花園、藻琴
山・斜里岳登山、裏摩周など観光圏域内の観光シーズンにおける急病とレジャー型の交通
事故が多発傾向にあります。

令和2年中 出場件数状況

◎令和2年中（1月～12月）の出場件数 882件（前年比 138件減）

○主な出場件数の前年比内訳

急病（出場）	500件	56.7%	（前年比 71件減）
交通事故（出場）	41件	4.6%	（前年比 2件減）
一般負傷（出場）	119件	13.5%	（前年比 7件減）
転院搬送（出場）	178件	20.2%	（前年比 53件減）
その他（出場）	22件	2.5%	（前年比 1件増）

主な出場のうち、急病は56.7%を占め、そのうち比較的軽症と思われるものも、おおよそ33.0%を占め、重症度の救急業務と重複する懸念のある現況です。

4.6%を占める交通事故は、4月～10月の観光シーズンに、交通事故全体の66.7%を占める28名を搬送しています。

◎昭和50年から近年までの出場件数推移

（1月1日～12月31日）

年	区別 出場件数	昭和50年 対比	内訳
昭和50年	296件	100%	斜里町 172件 小清水町 69件 清里町 55件
昭和60年	484件	164%	斜里町 321件 小清水町 82件 清里町 81件
平成10年	730件	247%	斜里町 494件 小清水町 123件 清里町 113件
平成20年	926件	313%	斜里町 598件 小清水町 178件 清里町 150件
平成30年	1,020件	345%	斜里町 622件 小清水町 227件 清里町 171件
令和2年	882件	298%	斜里町 506件 小清水町 216件 清里町 160件

年別出場件数調（過去5カ年）

（平成28年～令和2年）

年別	区分 町別	出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	救 急 事 故 区 分 （ 件 数 ）											不 搬 送			
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
															転 院 搬 送		医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
28	斜 里	582	557	570	1			33	7		63	3	2	298	168	1		6	25
	小 清 水	178	165	174				19			25			95	39				13
	清 里	193	170	172				15	5		29			124	20				23
	計	953	892	916	1			67	12		117	3	2	517	227	1		6	61
29	斜 里	585	556	559		1	1	33	5		70	1	7	280	176	2		9	29
	小 清 水	205	189	193	1			20			26			118	39	1			16
	清 里	159	140	140				8	1	2	21		6	110	11				19
	計	949	885	892	1	1	1	61	6	2	117	1	13	508	226	3		9	64
30	斜 里	589	556	564	1		1	29	3		76	3	6	293	167	1		9	33
	小 清 水	228	210	213				18			29		2	123	49			7	18
	清 里	164	148	149				7	5		31		1	109	9			2	16
	計	981	914	926	1		1	54	8		136	3	9	525	225	1		18	67
元	斜 里	622	585	589			3	21	13		85	2	1	320	160			17	37
	小 清 水	227	210	215	1		1	14	1	1	19			125	64			1	17
	清 里	171	155	155				8	2		22		2	126	7	1		3	16
	計	1,020	950	959	1		4	43	16	1	126	2	3	571	231	1		21	70
2	斜 里	506	484	488	1		2	21	7		65		8	264	121			17	22
	小 清 水	216	204	206			1	14	1		26		1	122	51				12
	清 里	160	141	143				6	1		28			114	6			5	19
	計	882	829	837	1		3	41	9		119		9	500	178			22	53

傷病程度別の搬送人員状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故種別 傷病程度	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
死亡	35				1			4		2	28	
重症	189				2	1		21		1	76	88
中等症	361	1			14	4		44		3	215	80
軽症	252				25	4		48		1	157	17
その他												
計	837	1			42	9		117		7	476	185

- 備考 1. 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
 2. 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
 3. 中等症とは、傷病程度が重症又は、軽症以外のものをいう。
 4. 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
 5. その他とは、医師の診断がないもの、及び、搬送先がその他の場所へ搬送したものをいう。

年齢別の搬送人員状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故種別 年齢別	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新生児												
乳幼児	20				1			3			13	3
少年	5							2			2	1
成人	228				23	7		35		3	113	47
高齢者	584	1			18	2		77		4	348	134
計	837	1			42	9		117		7	476	185

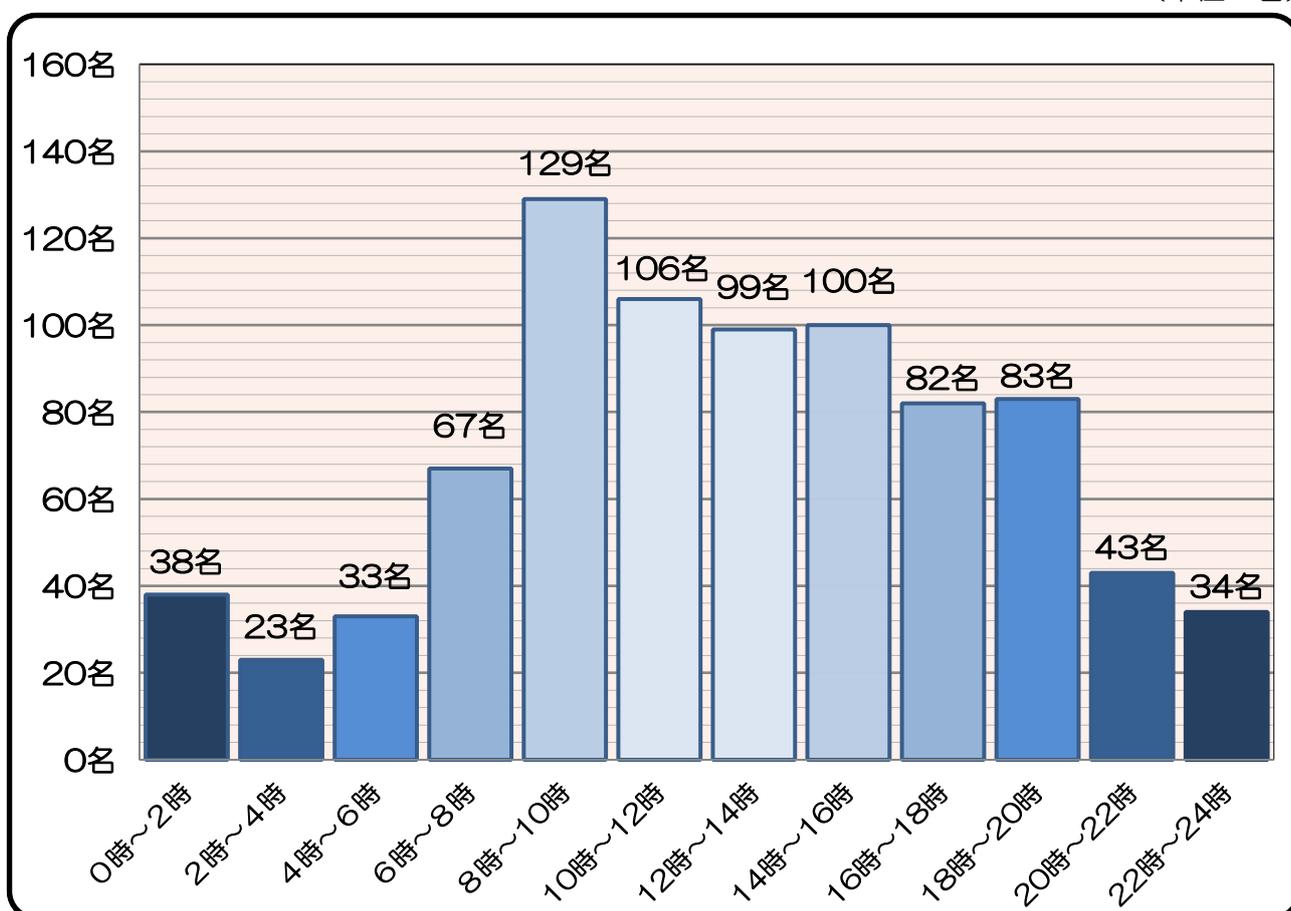
- 備考 1. 新生児とは、生後28日以内のことをいう。
 2. 乳幼児とは、生後29日以上、満7歳未満のことをいう。
 3. 少年とは、満7歳以上、満18歳未満のことをいう。
 4. 成人とは、満18歳以上、満65歳未満のことをいう。
 5. 高齢者とは、満65歳以上のことをいう。

時間別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故種別 時間	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0時～2時	38							2			30	6
2時～4時	23				1			2			14	6
4時～6時	33				2			5			21	5
6時～8時	67				6			10		1	46	4
8時～10時	129	1			4	1		23			69	31
10時～12時	106				6	4		14			49	33
12時～14時	99				6	2		12		1	48	30
14時～16時	100				9	1		16		1	50	23
16時～18時	82				8	1		14		1	42	16
18時～20時	83							10			55	18
20時～22時	43							6		1	23	13
22時～24時	34							3		2	29	
計	837	1			42	9		117		7	476	185

(単位：名)

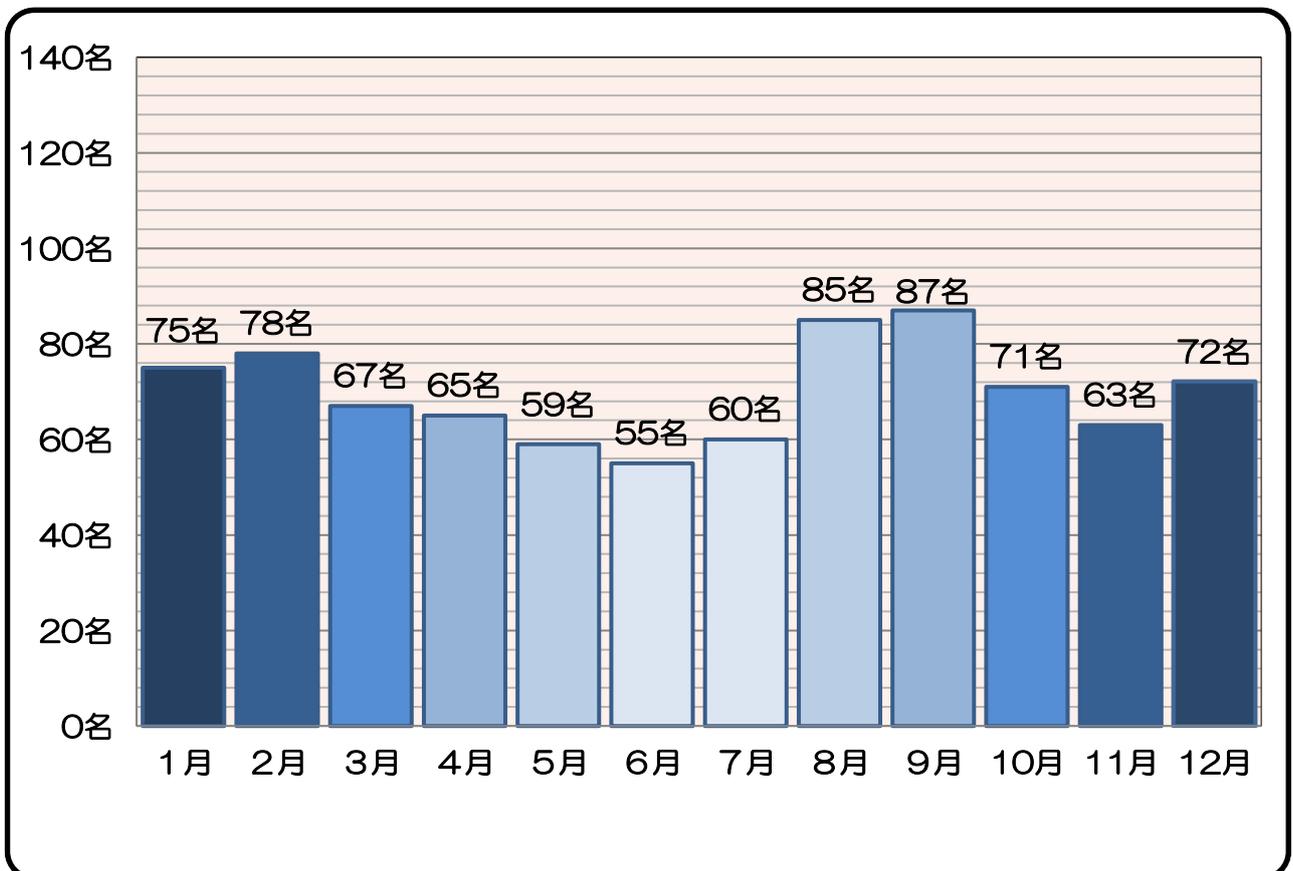


月別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故種別 月	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1 月	75				7			11			48	9
2 月	78					1		13			38	26
3 月	67	1			1	2		5		1	46	11
4 月	65				4	2		8		1	36	14
5 月	59				4	2		13			31	9
6 月	55				2			9			31	13
7 月	60				1			10			29	20
8 月	85				7			10		1	45	22
9 月	87				8	1		11		1	48	18
10 月	71				2	1		8		2	39	19
11 月	63				4			7			41	11
12 月	72				2			12		1	44	13
計	837	1			42	9		117		7	476	185

(単位：名)

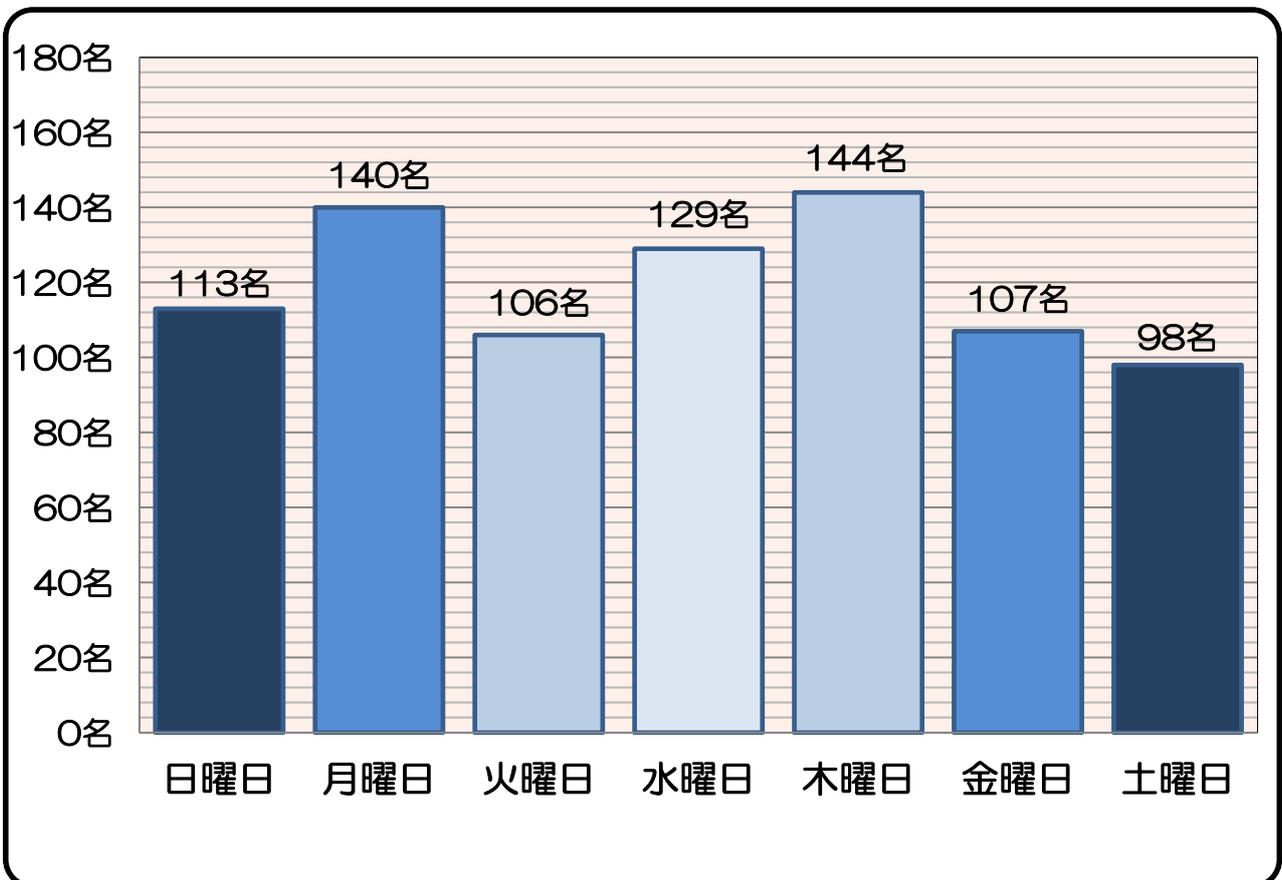


曜日別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故種別 曜日	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日曜日	113				3			18		1	67	24
月曜日	140				6	1		19			81	33
火曜日	106				6	1		17		1	60	21
水曜日	129				4	2		21		2	73	27
木曜日	144				14	4		15		2	72	37
金曜日	107	1			7			11			63	25
土曜日	98				2	1		16		1	60	18
計	837	1			42	9		117		7	476	185

(単位：名)



「 消 防 年 報 」

編 集 斜里地区消防組合消防本部
発 行 令和3年10月
所在地 〒099-4113
北海道斜里郡斜里町本町14番地3
電 話 0152-23-3647
F A X 0152-23-2494
Eメールアドレス
honbu@sharifd.jp